REMOTE CONTROLER

RC-81

取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます

製品をご使用される前に必ずお読みください

ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警 告

・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注 意

・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

● 注意 (警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

● 必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水ぬれ禁止

水場での使用禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

● 万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

⚠警 告

◆万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

※火災や感電の原因になります。
- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 内部に水や物が入ってしまったとき。
- 落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。

■お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

◆不安定な場所に置かない

※ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

◆表示された電源電圧(交流１００V)以外で使用しない

※火災や感電の原因となります。

◆内部に物を入れない

※通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

◆ぬらさない

※火災や感電の原因となります。

◆雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントからぬく

※感電の原因となります。

◆電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

※本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

◆本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

※内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。

◆電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

※ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。

◆電源コードを傷つけない

※電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。

⚠注 意

◆次のような所には置かない

※火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ。
- 油煙や湯気の当たるところ。
- 熱器具の近くなど。
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。

◆他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

※指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

◆通風孔をふさがない

※通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。
- 横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

※通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

◆移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

※ 接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

◆この機器の上に重い物を置かない

※重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

◆長時間使用しないときは電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため電源プラグを抜いてください。

◆お手入れをするときは電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

◆電源プラグはコードの部分を持って抜かない

※電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

◆ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

※感電の原因となることがあります。

目次

1.本製品について----------1
1-1.本製品および付属品について----------1
1-2.製品概要----------2
1-3.主な特徴----------2

2.各部の名称と機能----------3
2-1.RC－81 本体の前面パネル----------3
2-2.RC－81 本体の背面パネル----------6

3.操作方法----------8
3-1.RC－81 本体の電源 ON----------8
3-2.RC－81 本体の電源 OFF----------8
3-3.スイッチャーの切り替え操作----------9

4. ディップスイッチ----------9

5. RC－81 本体の固定----------10

6.ユーティリティーソフトの概要と準備----------12
6-1.ユーティリティーソフトの概要----------12
6-2.動作環境----------12
6-3.インストール----------12
6-4.アンインストール----------12

7.ユーティリティーソフトの使い方----------13
7-1.設定の流れ----------13
7-2.ユーティリティーソフトの起動----------14
7-3.登録データの新規作成、既存のデータを開く----------15
7-4.出力ポートの設定----------17
7-4-1.出力ポートの設定画面----------19
7-4-2.シリアルポート出力の設定----------18
7-4-3.パラレルポート出力の設定----------20
7-4-4.電源制御ユニット出力ポートの設定----------22
7-4-5.スクリーン出力ポートの設定----------25
7-5.ボタンの割当設定----------28
7-6.ボタンへのコマンド登録----------29

7-6-1.ボタンの割当設定画面 ----------29
7-6-2.シリアルコマンドの登録・設定 ----------32
7-6-3.パラレル出力の設定/電源制御ユニット出力の設定/スクリーン出力の設定
----------33
7-7.登録データの保存----------34
7-8.登録データの書き込み----------35
7-9.登録データの読み出し----------37
7-10.COM ポートの設定----------39

8.各種機能----------40
8-1.割り込み機能----------40
8-2.ロック機能----------41
8-3.ウェイト機能----------42
8-4.ACK コマンドの登録､ACK タイムアウト----------43
8-5.出力ポートの設定印刷----------44
8-6.動作チェック表の印刷----------45
8-7.ボタン銘版の印刷----------46
8-8.通常モード、ON/OFF モード----------48
8-9.F1 の ON ステータス/OFF ステータス----------49

9.RC-81 の登録事例----------50

10.制限事項----------51

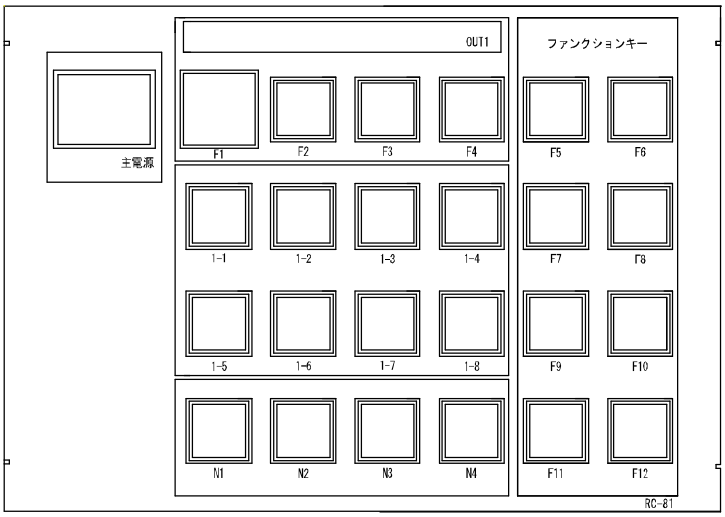
11.主な仕様----------52

12.索引----------53

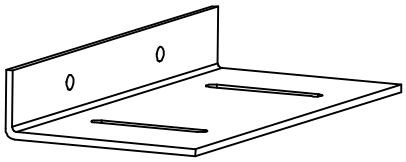
1．本製品について

１-１．本製品および付属品について

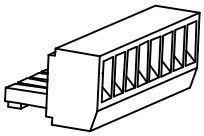
本製品および付属品が入っていることをご確認ください。



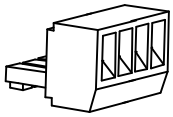
RC-81 本体



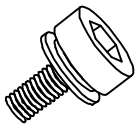
本体固定金具（2 個）



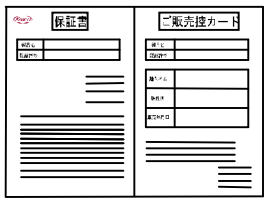
端子台 8 極（2 個）



端子台 4 極（3 個）



六角ネジ（4個）



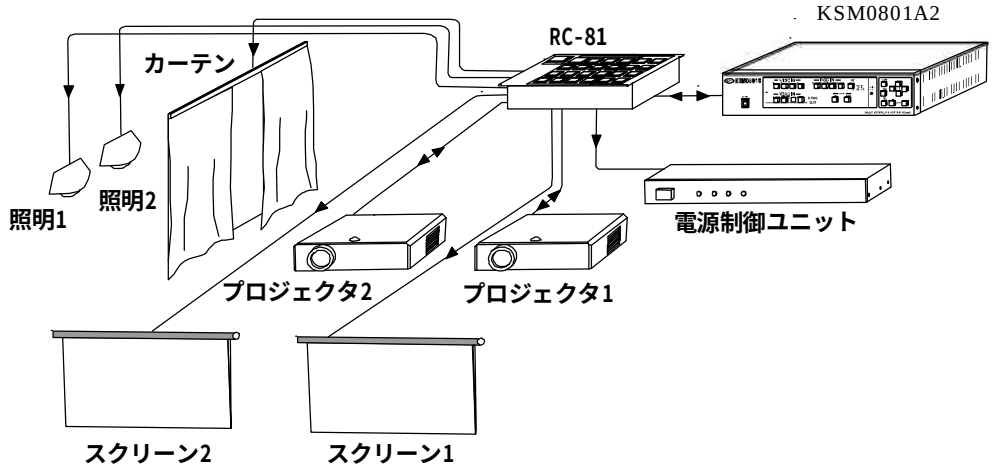
保証書

取扱説明書(本冊子)

※ユーティリティーソフトウェアの入手については、当社までお問い合わせください。

１-２．製品概要

当社のスイッチャー　KSM0801A2 を外部制御するための専用リモートコントローラーです。スイッチャーの切り替え操作はもちろん、プロジェクターなどの表示系も RS－232C でコントロールでき、あわせてスクリーン、照明、電源制御ユニットなどの接点制御も可能です。



RC-81 システム例

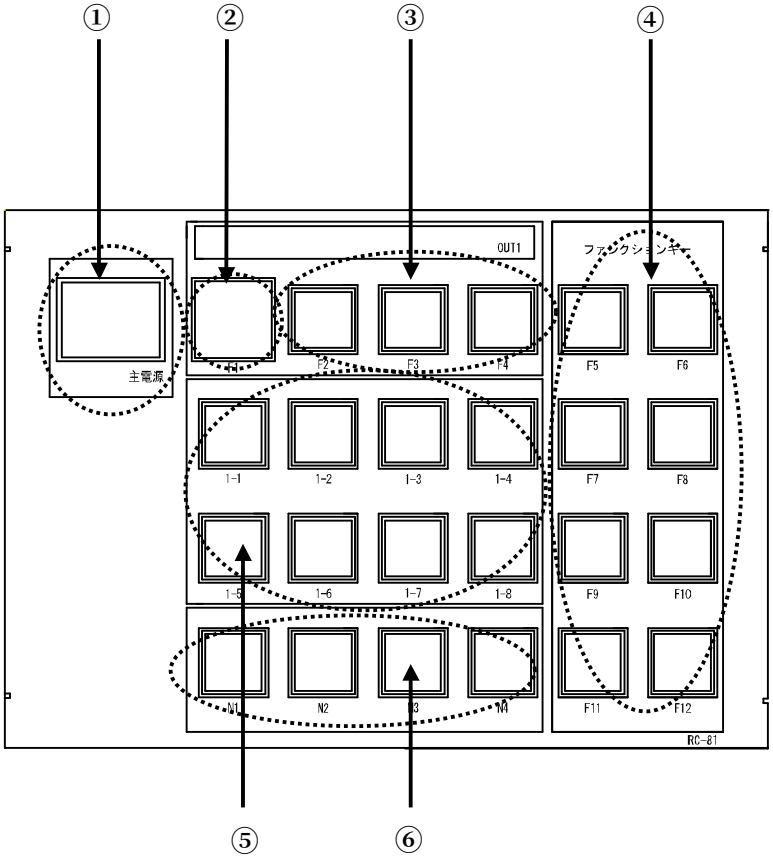
１-３．主な特徴

- シリアル接続による KSM0801A2 の切り替え操作ができます。
  ※KSM0801A2 の切り替えコマンドは工場出荷時に登録済みです。
- その他、表示機器制御用などにシリアルポートを 2 系統搭載しています。
- スクリーン制御、電源制御ユニット用に接点出力端子を搭載しています。
- その他、パラレルポートを８接点搭載しています。
- 各ボタンには専用ユーティリティーソフトを介して、シリアル、パラレル問わず、自由にコマンドを登録することができます。（詳しくは“**7－6．ボタンへのコマンド登録**”と“**10．制御事項**”をご覧ください。）
- 各ボタンには主となるコマンドの他に、最大 10 個の連動コマンドが登録可能です。各コマンドは番号順にシーケンシャル処理されます。
- 各ボタンには銘版シートを挿入することが可能です。また、ユーティリティーソフトで登録したボタン名称を簡単に印刷することができます。
- プログラムデータは、ファイル形式で保存でき、編集、コピーなども可能です。
- ACK コマンド処理が可能になっており、接続機器の状態を受信してから、次の処理に移ることができます。また、ACK 設定時のタイムアウト処理も可能になっています。
- その他、割り込み機能、ロック機能など、各種機能を搭載しています。（詳しくは、“**8．各種機能**”をご覧ください。）

特許出願中　2005.03

２．各部の名称と機能

２-１．RC－81 本体の前面パネル



① “主電源”スイッチ（表示；主電源）

- 電源コードを接続した後、このスイッチをオンすることにより RC-81 本体の電源が入ります。（背面の POWER が“ON”になっている必要があります。）
- ボタンの LED 動作はオルタネート動作になります。

コマンド登録機能仕様；　主電源			
モード	コマンド	登録コマンド数	LED
ON 時	主コマンド	1 個	オルタネート動作
	連動コマンド	10 個	
OFF 時	主コマンド	1 個	
	連動コマンド	15 個	

② “表示機器電源　オン／オフ”スイッチ（表示；F1 ）

- 主に、接続された表示機器の電源制御などに使用します。他の目的で使用することも可能です。
- モーメンタリスイッチとして使用する場合の“通常モード”と、オルタネートスイッチとして使用する“ON／OFF モード”から選択できます。
- ボタンの LED 動作は、通常モードの場合はモーメンタリ動作、ON／OFF モードの場合はオルタネート動作になります。

コマンド登録機能仕様；　F1				
モード		コマンド	登録コマンド数	LED
ON／OFF モード	ON 時	主コマンド	1 個	オルタネート動作
		連動コマンド	10 個	
	OFF 時	主コマンド	1 個	
		連動コマンド	10 個	
通常モード		主コマンド	1 個	モーメンタリ動作
		連動コマンド	10 個	

③ “スクリーン制御”スイッチ（表示；F2、F3、F4）

- 主にスクリーンなどの制御（昇・降・停）を行ないます。
- 他の目的で使用することも可能です。
- ボタンの LED 動作はすべてモーメンタリ動作になります。

コマンド登録機能仕様；　F2、F3、F4		
	登録コマンド数	LED
主コマンド	1 個	モーメンタリ動作
連動コマンド	10 個	

④ “ファンクションキー”スイッチ（表示；F5 ～ F12）

- 自由に割り当てていただくボタンです。照明の ON／OFF や、カーテンの開／閉、システムの一括設定などにお使いください。
- ボタンの LED 動作はすべてモーメンタリ動作になります。

コマンド登録機能仕様；　F5～F12		
	登録コマンド数	LED
主コマンド	1 個	モーメンタリ動作
連動コマンド	10 個	

⑤ “OUT1 選択”スイッチ（表示；1−1 ～ 1−8）

- KSM0801A2 の OUT1 に出力する入力ソースを選択することができます。
  工場出荷時で既にシリアルコマンドは登録されています。
- スイッチャーのフロントの状態も、0.5 秒ごとに読み込み、反映します。

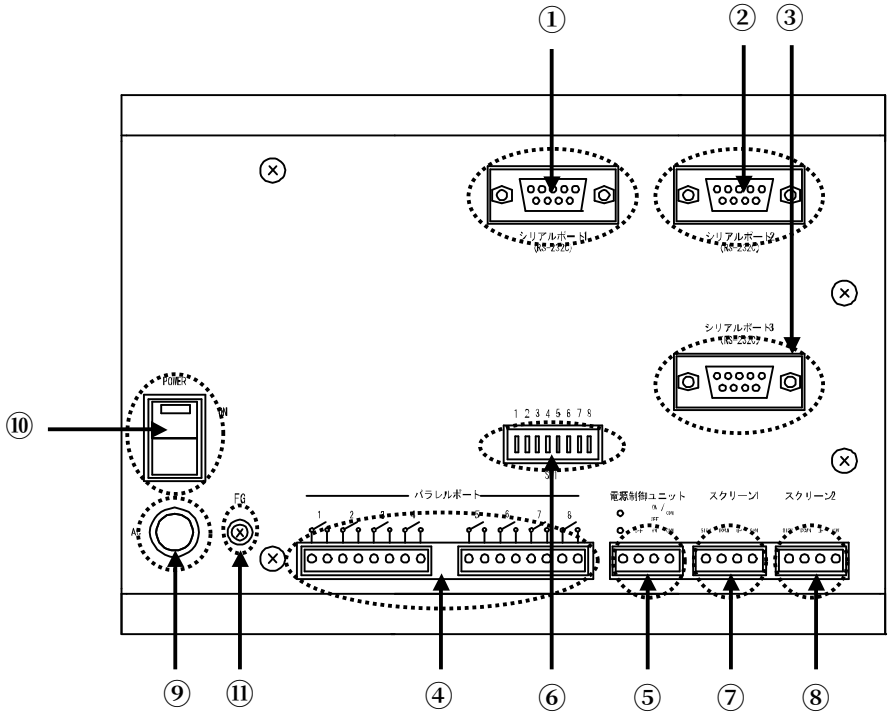
コマンド登録機能仕様； 1-1 ～ 1-8		
	登録コマンド数	LED
主コマンド	KSM0801A2 切り替えコマンド登録済み	KSM0801A2 と連動
連動コマンド	3 個	

⑥ “NTSC OUT 選択”スイッチ（表示；N1 ～ N4）

- KSM0801A2 の NTSC OUT に出力する入力ソースを選択することができます。
  工場出荷時で既にシリアルコマンドは登録されています。
- スイッチャーのフロントの状態も、0.5 秒ごとに読み込み、反映します。

コマンド登録機能仕様； N1 ～ N4		
	登録コマンド数	LED
主コマンド	KSM0801A2 切り替えコマンド登録済み	KSM0801A2 と連動
連動コマンド	3 個	

２-２．RC-81 本体の背面パネル



① シリアルポート１（RS－232C）　RC-81 本体側、Dsub9 ピンオス使用

- スイッチャーとの接続を行なっていただくポートです。工場出荷時に、RC-81 本体にはコマンドが登録されています。また、自動的にスイッチャーのフロントパネルの状態読み込みを行なっていますので、常にスイッチャーのフロントパネルと、リモコンのスイッチは、同期しています。
- RC-81 本体と KSM0801A2 は、RS－232C ストレートケーブルにて接続します。
- 通信仕様(工場出荷時設定)は以下の通りです。

通信速度　　：9600bps(工場出荷時設定)
データ長　　：8ビット
ストップビット長：1ビット
パリティチェック：なし
Ｘパラメータ　：なし
通信方式　　：全2重
※　ボーレートなどの通信設定はユーティリティーソフトから、設定できます。
（“7－4．出力ポートの設定”参照）
※　ボーレート値は下記の値に設定変更が可能です。
2400bps、4800bps、9600bps、19200bps、38400bps、57600bps、115200bps
※　シリアルポート2、3も同様の通信設定が可能です。

② シリアルポート 2（RS－232C）　RC-81 本体側、Dsub9 ピンオス使用

・ OUT1 の表示機器に接続します。電源の制御や、入力の切り替えを行ないます。

③ シリアルポート 3（RS－232C）　RC-81 本体側、Dsub9 ピンオス使用

・ 通常のシリアル制御が可能です。

④ パラレルポート 1～8　　コネクタは付属しております

・ 照明や、カーテンなど、接点出力で制御する機器などを接続するポートです。

⑤ 電源制御ユニット制御専用パラレルポート　　コネクタは付属しております

・ 電源制御ユニットを制御するための接点出力ポートです。

⑥ 設定用ディップスイッチ

・ RC-81 本体の設定用スイッチです。データの書き込みや、読み込み時に設定します。
※2 番のみ ON になっている必要があります。ご確認ください。
詳しくは“４．ディップスイッチ”をご覧ください。

⑦ OUT1 スクリーン制御専用パラレルポート　　コネクタは付属しております

・ OUT1 のスクリーンを制御するための接点出力ポートです。

⑧ 予備スクリーン制御専用パラレルポート　　コネクタは付属しております

・ スクリーンを制御するための予備用接点出力ポートです。

⑨ AC　（AC100V）

・ AC100V コンセントに接続するプラグです。電源は RC-81 本体に内蔵しています。

⑩ POWER スイッチ

・ RC-81 本体のメイン電源スイッチです。通常は ON にしたままで使用します。

⑪ FG（フレームグランド）端子

・ 屋内のアース端子と接続するために使用します。

３．操作方法

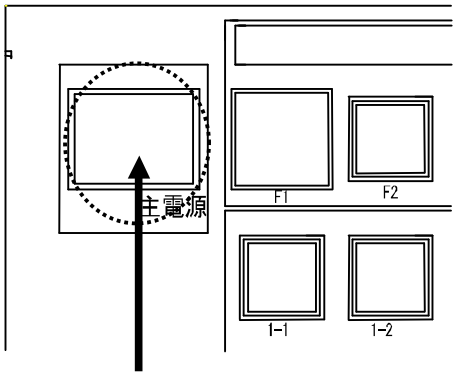
３－１．RC-81 本体の電源 ON

①．電源スイッチを押してください。

RC-81 本体の電源が投入され、主電源スイッチが緑色に点滅し、登録された主コマンド、連動コマンドを処理します。コマンドの処理が終了すると、LED は点灯に切り替わります。

②．スイッチャーの切り替えボタン（1－1 ～2－8）が点灯したら、RC-81 本体の起動は終了です。

（ただし、RC-81 本体と KSM0801S がストレートケーブルで接続されている必要があります。）



注意

- 起動中は他のボタン操作を受け付けることはできません。（キーロック機能が有効になっています。）
- ①の操作を行なっても主電源スイッチが点灯しない場合は、RC-81 本体の電源が AC100V コンセントに正しく接続されているか、もしくは、底面の POWER が“ON”になっているかを確認してください。
- 工場出荷時、KSM0801A2 の制御コマンド以外は、登録されておりません。ユーティリティーソフトからコマンドの登録を行なう必要があります。

３－２．RC-81 本体の電源 OFF

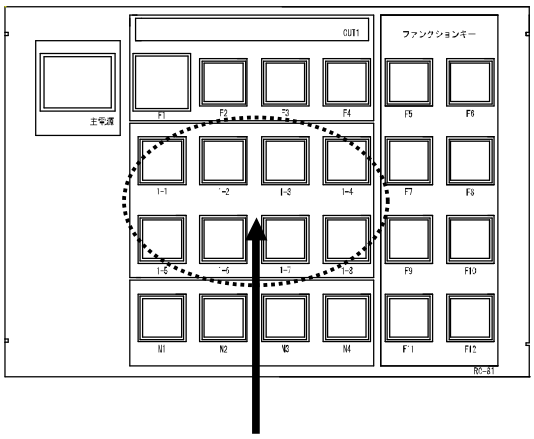
①．電源スイッチを押してください。

主電源スイッチが、緑色に点滅し、登録された主コマンド、連動コマンドを処理した後、自動的に RC-81 本体の電源を OFF します。

参考

- ユーティリティーソフトでの、主コマンド、連動コマンドの登録により、RC-81 本体の電源 ON（OFF）に続けての電源制御ユニットの電源 ON（OFF）や、スイッチャーの初期化などの、さまざまな制御が可能です。
- 登録できるコマンドの数は、
  “2-1. RC-81 本体の前面パネル”を参照ください。

３-３．スイッチャーの切り替え操作



KSM0801S のクロスポイントの切り替え操作ができます。出力 OUT1 でスイッチが用意されており、スイッチャー本体のクロスポイントの状態も、リアルタイムで反映されます。

ａ）入力映像を選択する
“１−１～１−８”のスイッチを押してください。

ｂ）OFF にする
現在選択されている（点灯している）スイッチを押してください。“１−１～１−８”のスイッチが全て消え、スイッチャー本体の入力選択は“OFF”が選択されます。

参考

・ 登録できるコマンドの数は、“2-1．RC-81 本体の前面パネル”を参照ください。

４．ディップスイッチ

本体背面のディップスイッチは下記の表のように設定されています。
ディップスイッチの変更は電源を切った状態で行ってください。

ディップスイッチ番号	設定内容	工場出荷時
1	ユーティリティーソフト接続時に使用します ON：有効 OFF：無効	OFF
2	常に ON	ON
3	スイッチャが接続されていないときに使用します ON：有効 OFF：無効	OFF
4	変更しないで下さい	
5		
6		
7		
8		

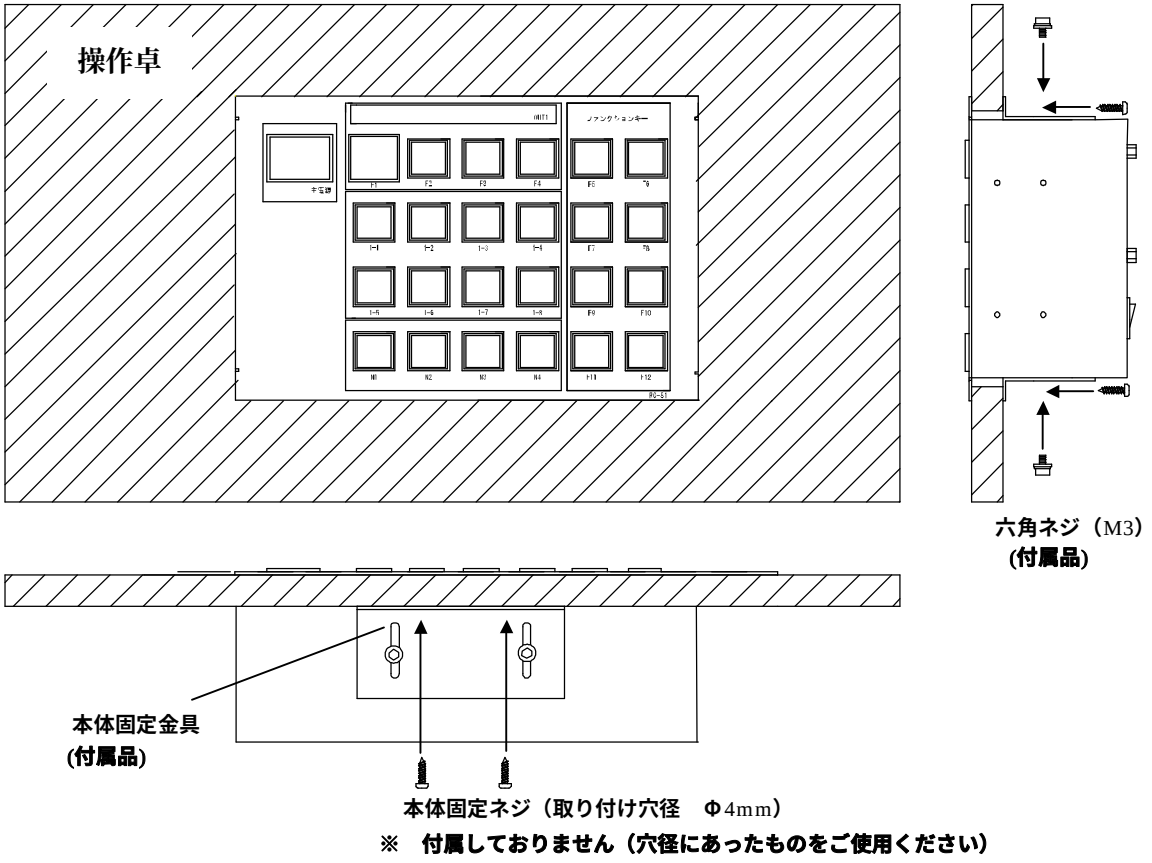
※ディップスイッチは工場出荷時は 2 番のみ ON になっております。SW-2、SW-4～8 は変更しないでください。（変更すると正常に動作しなくなる場合があります）

５．RC-81 本体の固定

a)　操作卓への固定

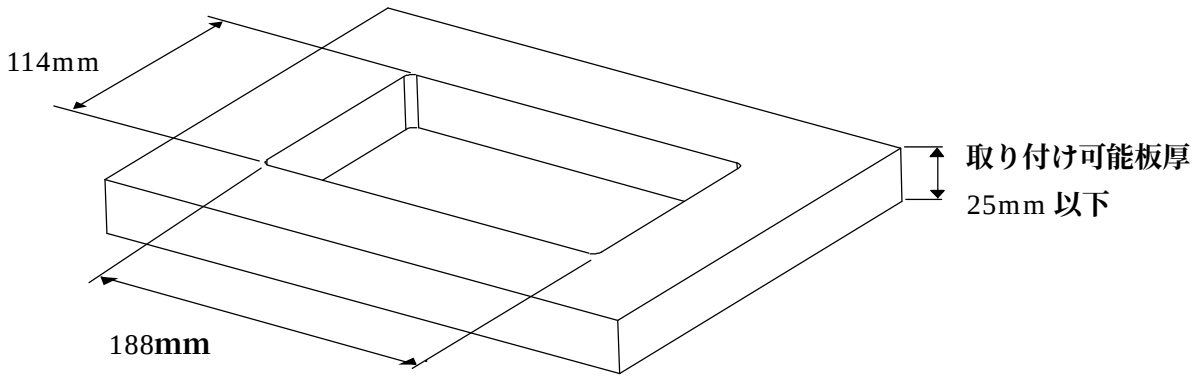
RC-81 本体は操作卓への取り付けが可能です。下図を参考に RC-81 本体を取り付けてください。

※本体固定金具を取り付ける六角ネジは付属のものをお使いください。また、操作卓への固定ネジは付属しておりません。



・取り付け参考寸法

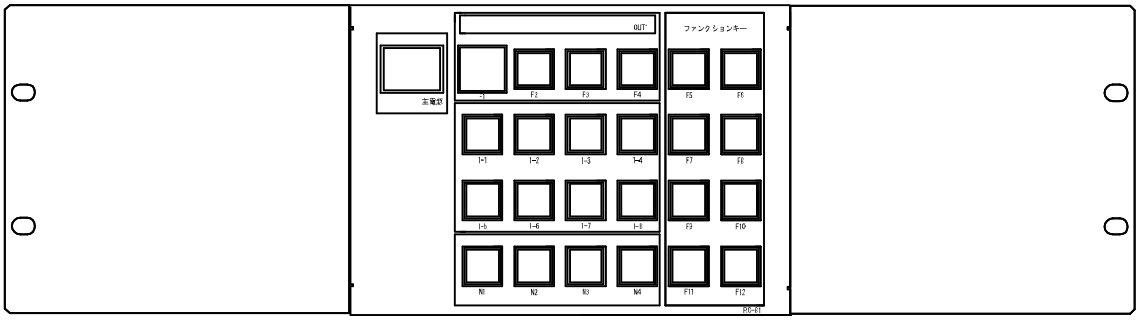
操作卓への取り付けの際は、操作卓の施工が必要となります。下図の取り付け寸法値を参考に施工してください。



b) ラックへの固定

専用ラックマウント（3U サイズ）を使用することによって、RC-81 本体をラックに設置することができます。

本品はオプションとなっています。取り付け方法に関しましては付属の取り付け要領図でご確認ください。



ラックマウント金具の型名は、RC－81－M1 となります。
必要の際は上記型名にてご発注ください。

６．ユーティリティーソフトの概要と準備

６－１．ユーティリティーソフトの概要

専用のユーティリティーソフトウェアを Windows 系の PC にインストールすることで、本製品の設定変更やコマンド登録ができます。

登録したデータはファイル形式にて保存可能です。また、RC-81 本体に書き込まれたデータの読み込みも可能です。

※本取扱説明書における「Windows」はマイクロソフトコーポレーションの登録商標です。

６－２．動作環境

- OS　　Windows98、2000、XP
- 解像度　800×600 pixel　以上
- シリアルポートを有する事

６－３．インストール

無償提供のユーティリティーソフトウェアは.exe ファイルの実行のみでご使用できます。PC へのインストーラーによるセットアップ作業は必要ありません。

セットアップ方法

①.圧縮ファイル RC81V＊＊＊.EXE を PC にコピーし､ダブルクリックで解凍してください。
(RC81V＊＊＊の＊＊＊はバージョンナンバーになります。)

②. 解凍して生成される RC81V＊＊＊RC2 フォルダを開き、RC81.exe を実行してください。

備考

・Recipe フォルダは、プログラムデータを保存するためのデフォルトフォルダです。

※ユーティリティーソフトウェアの購入については、当社までお問い合わせください。

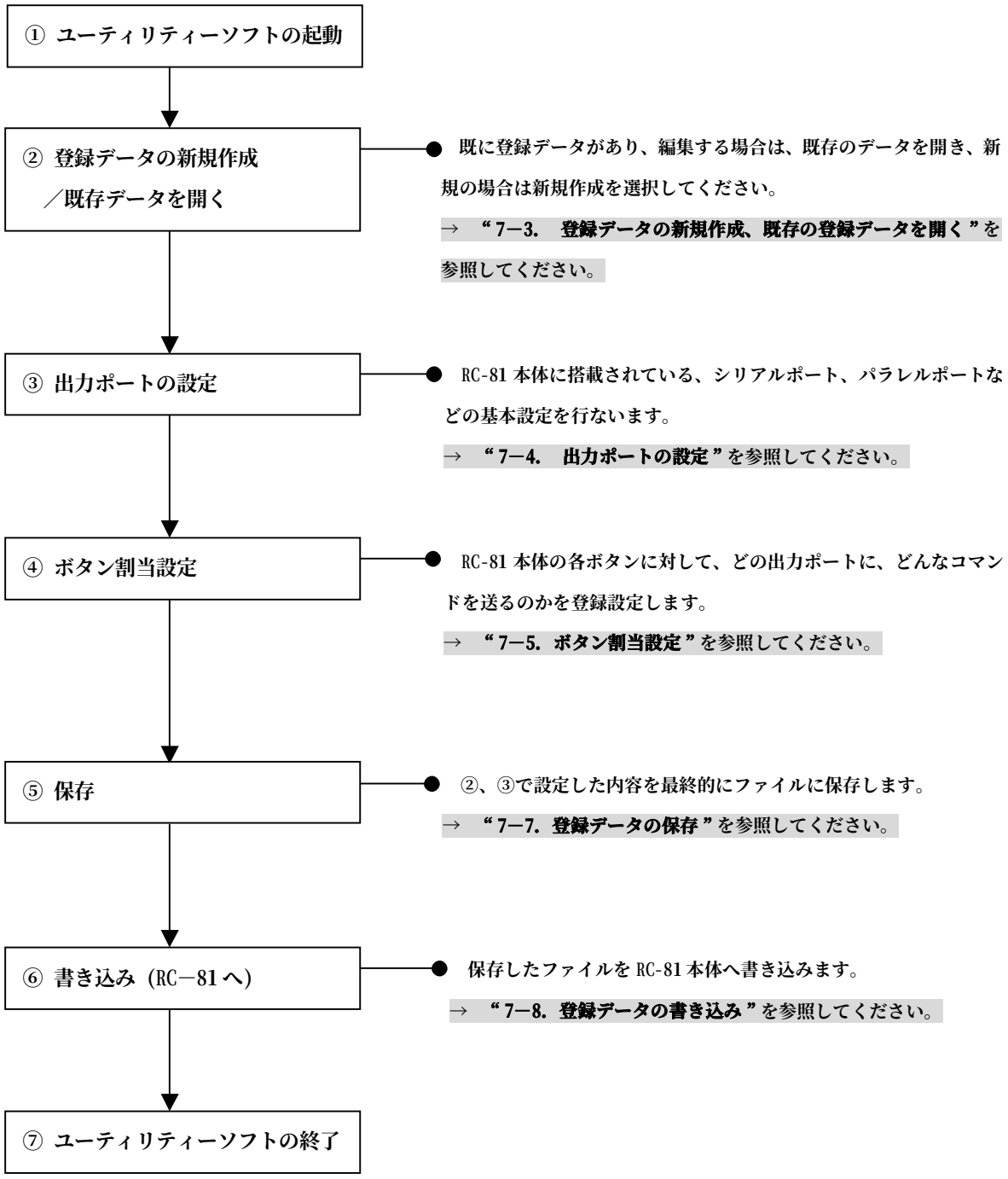
６－４．アンインストール

ユーティリティーソフトの削除は、RC81V＊＊＊RC2 フォルダを削除してください。

７．ユーティリティーソフトの使い方

７－１．設定の流れ

基本的な操作手順は下記の通りです。
特に重要なのは“③出力ポートの設定”と“④ボタンの割当設定”です。



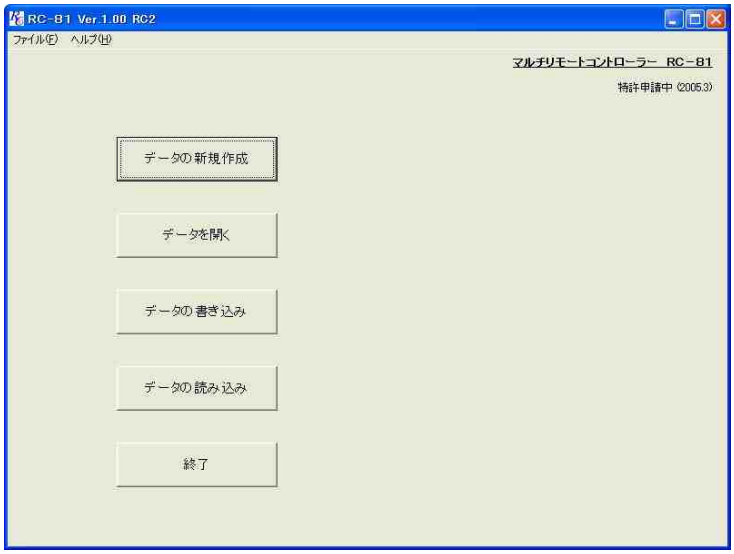
７－２．ユーティリティーソフトの起動

①．圧縮ファイルを解凍する

配布時は、本ソフトウェアは ZIP 形式で圧縮されています。ダブルクリックをして解凍してください。

②．“RC81.exe”をクリックして起動する

解凍するとフォルダが生成されます。フォルダを開き、“RC81.exe”をダブルクリックしてソフトウェアを起動してください。起動すると、下図の起動画面が表示されます。



～起動画面～

RC81.exe をダブルクリックしてソフトを起動してください。起動画面が表示されます。

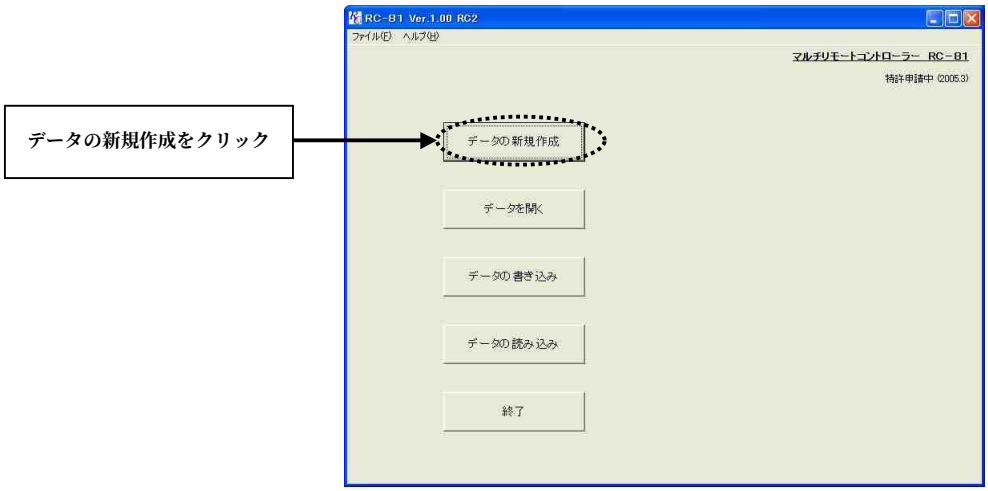
７－３．登録データの新規作成、既存のデータを開く

ａ）新規作成の場合

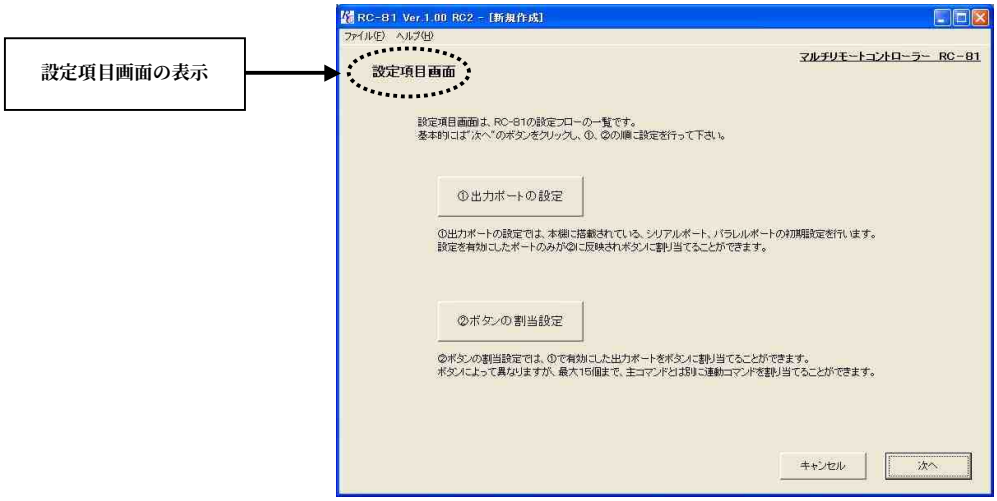
①.“データの新規作成”をクリックする

起動画面から“データの新規作成をクリックすると、“設定項目画面”が表示され、ここから設定を行ないます。

②. 全ての設定が終了したら、最後に名前を付けて保存します。出力ポートの設定へお進みください。



～起動画面～

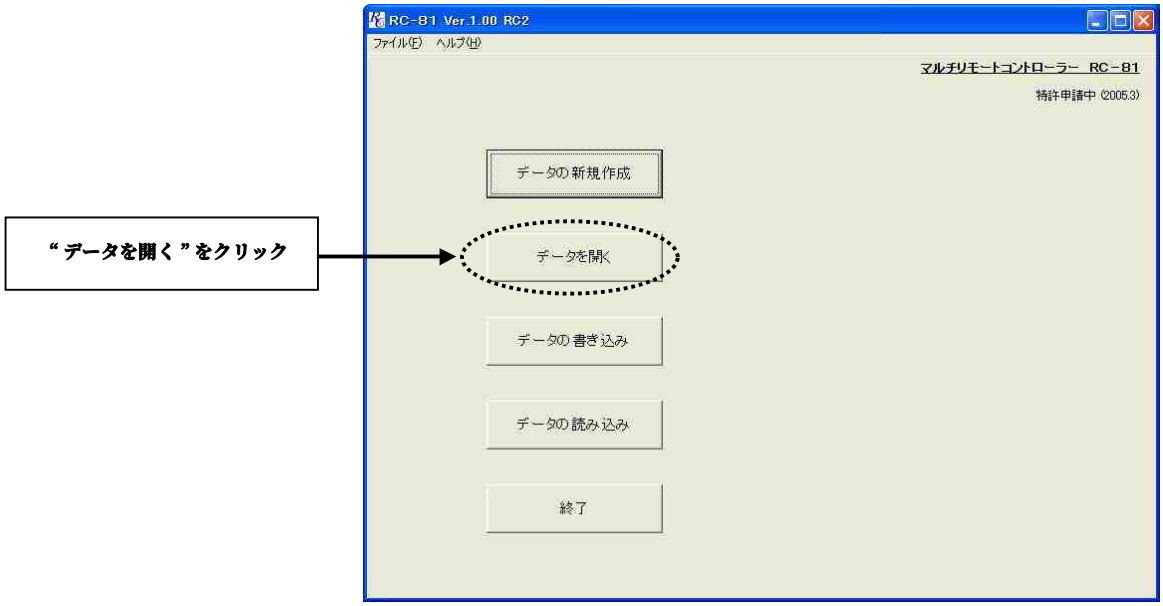


～設定項目画面～

b）既存の登録データを開く

①．”データを開く”をクリック

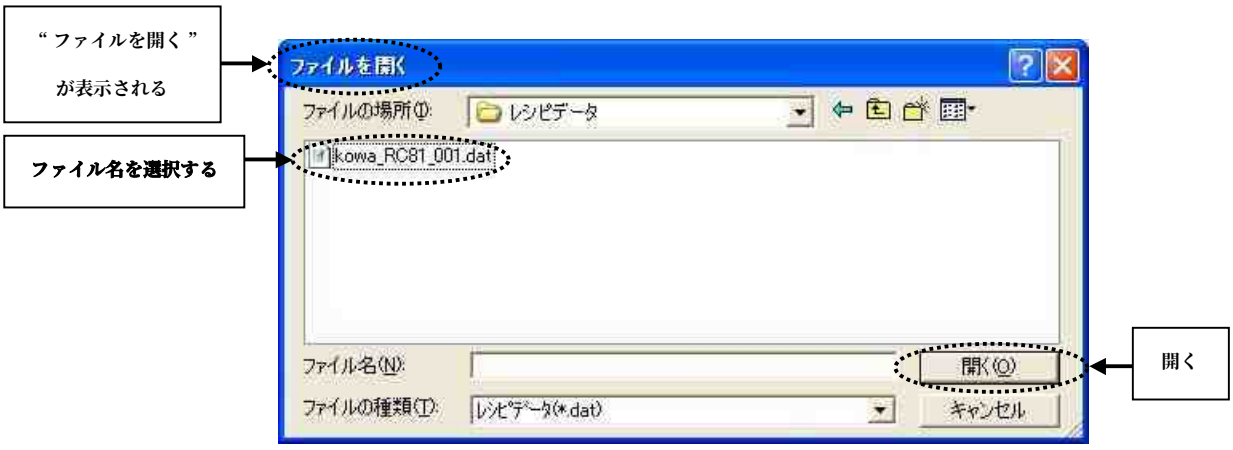
起動画面から“データを開く”をクリックすると“ファイルを開く”の画面が表示されます。



～起動画面～

②．ファイルを選択する

“ファイルを開く”の画面から、任意の“＊＊＊.dat”ファイルを選択し、“開く”をクリックします。新規作成時同様、設定項目画面が表示され編集作業を行ないます。設定が終了したら最後に上書き保存、または名前を付けて保存を選択し、保存作業が完了します。



～“ファイルを開く”の画面～

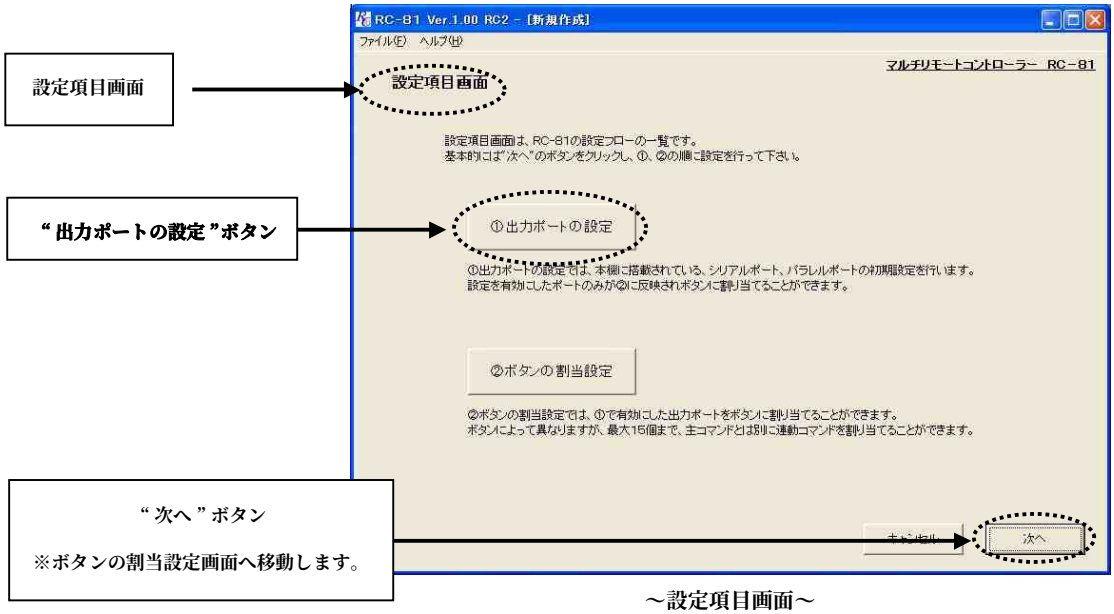
あらかじめ作成された登録データファイルを選択すると、“設定項目画面”が表示されます。

７－４．出力ポートの設定

７－４－１.出力ポートの設定画面

①.“出力ポートの設定”をクリックする

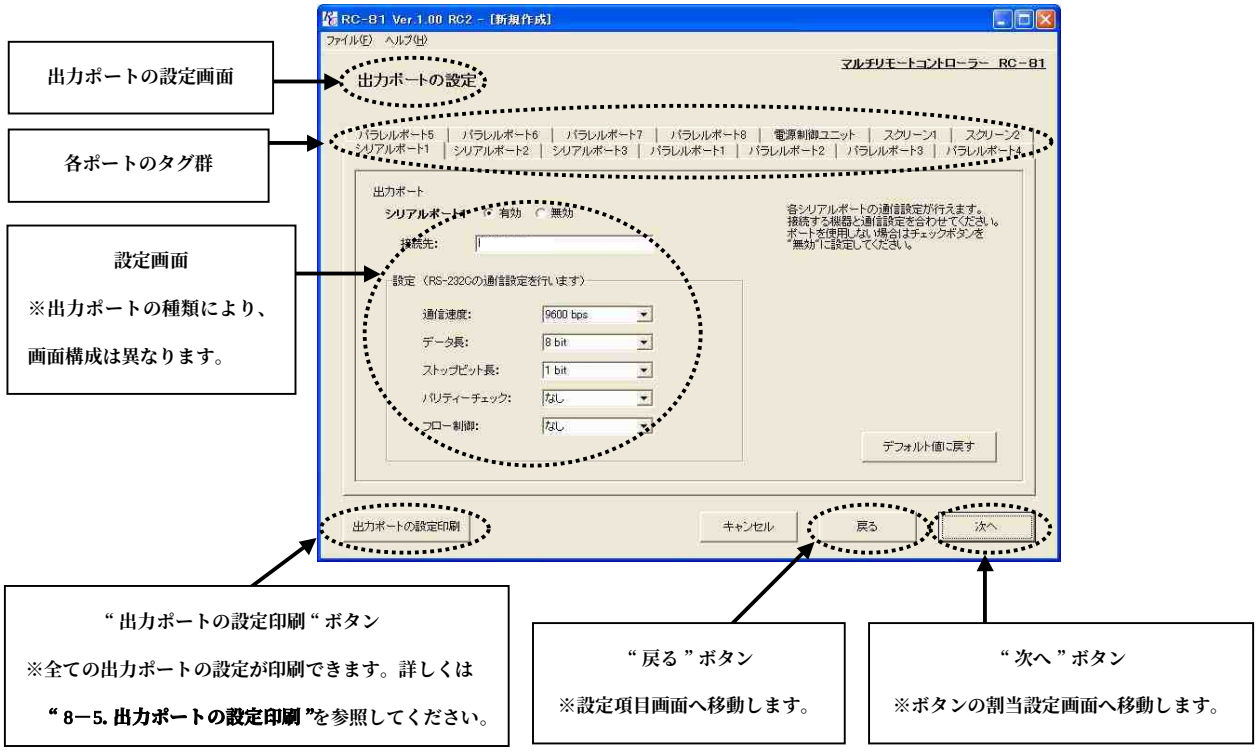
“設定項目画面”から、“①出力ポートの設定”をクリックすると“出力ポートの設定画面”が表示されます。



～設定項目画面～

②. 出力ポートの設定画面が表示される

出力ポートの設定画面から、各出力ポートの設定ができます。任意のタグをクリックし、設定画面を開きます。画面構成は下図の通りです。

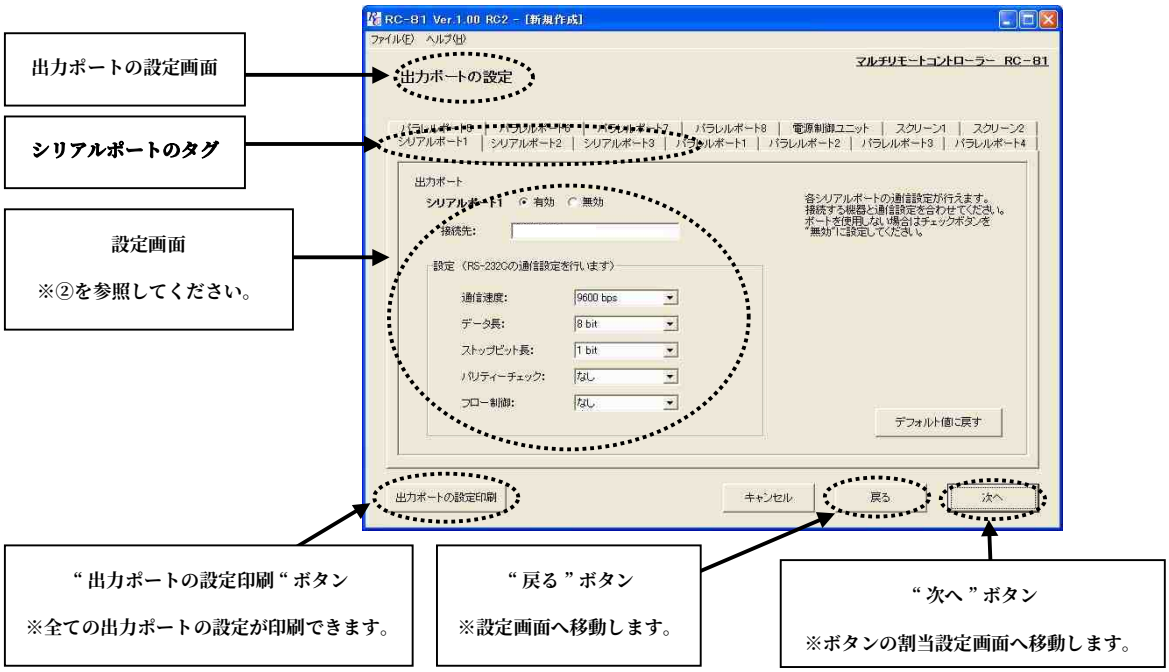


～出力ポートの設定画面～

７－４－２．シリアルポート出力の設定

①．シリアルポート１～３のタグから選択する

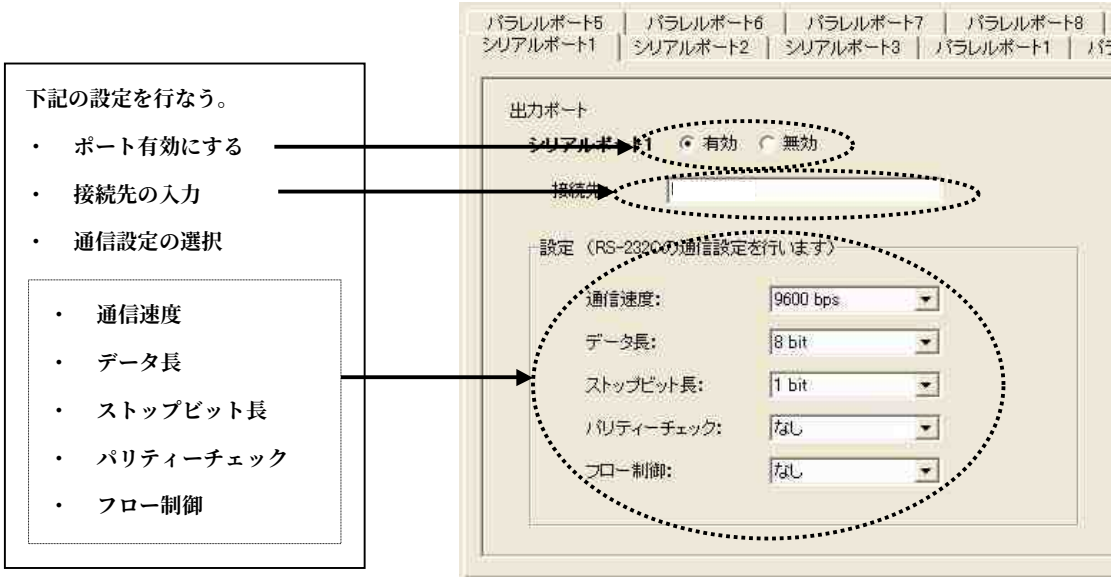
出力ポートの設定画面から、シリアルポートを選択してください。シリアルポート１には既に KSM0801A2 の通信設定が登録されています。必要に応じてシリアルポート２、３を選択してください。



～出力ポートの設定画面～

②．各設定を行なう

出力ポートを有効にします。続いて、接続先を入力することで、どのような機器がこのシリアルポートと接続しているかを表記します。接続機器との通信設定を確認して終了です。



～シリアルポート１の通信設定画面～

シリアルポートの出力に関する設定項目値は、以下の通りです。

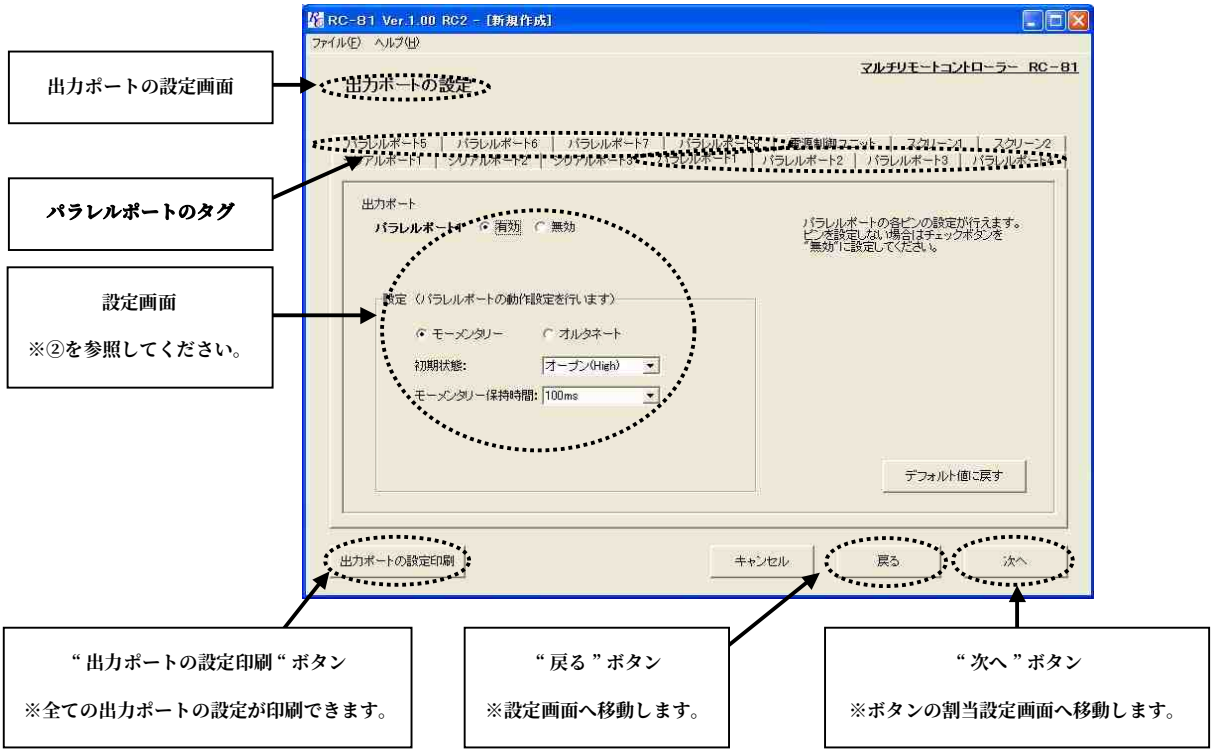
設定項目		設定範囲	初期値		
			シリアルポート1	シリアルポート2	シリアルポート3
1	ポートの 有効／無効設定	・有効 ・無効	有効	無効	無効
2	接続先の登録	－	KSM0801S	未登録	未登録
3	通信速度 (bps)	・2400　・4800 ・9600　・19200 ・38400　・57600 ・115200	9600	9600	9600
4	データ長	・7bit ・8bit	8bit	8bit	8bit
5	ストップビット長	・1bit ・2bit	1bit	1bit	1bit
6	パリティーチェック	・なし ・奇数パリティー ・偶数パリティー	なし	なし	なし
7	フロー制御	・なし ・ハードウェアー ・Xon/Xoff	なし	なし	なし

～シリアルポートの設定項目値～

７－４－３．パラレルポート出力の設定

①．パラレルポート１～８のタグから選択する

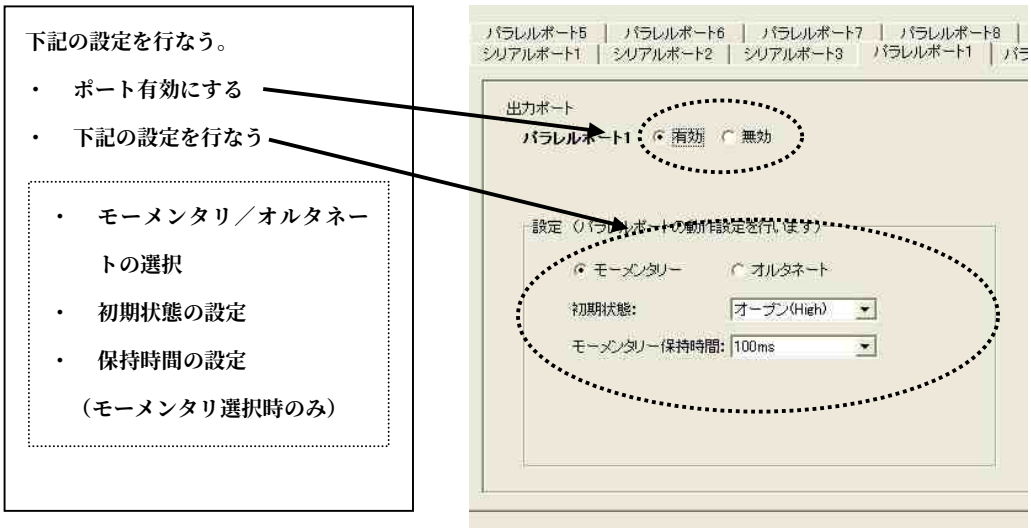
出力ポートの設定画面から、パラレルポートを選択してください。制御する内容に応じて設定を行ないます。



～出力ポートの設定画面～

②．各設定を行なう

出力ポートを有効にします。続いて、接続機器との電気的な動作設定を行ないます。モーメンタリはパルス出力で、保持時間の設定ができます。



～パラレルポート１の通信設定画面～

パラレルポートの出力に関する設定項目値は、以下の通りです。

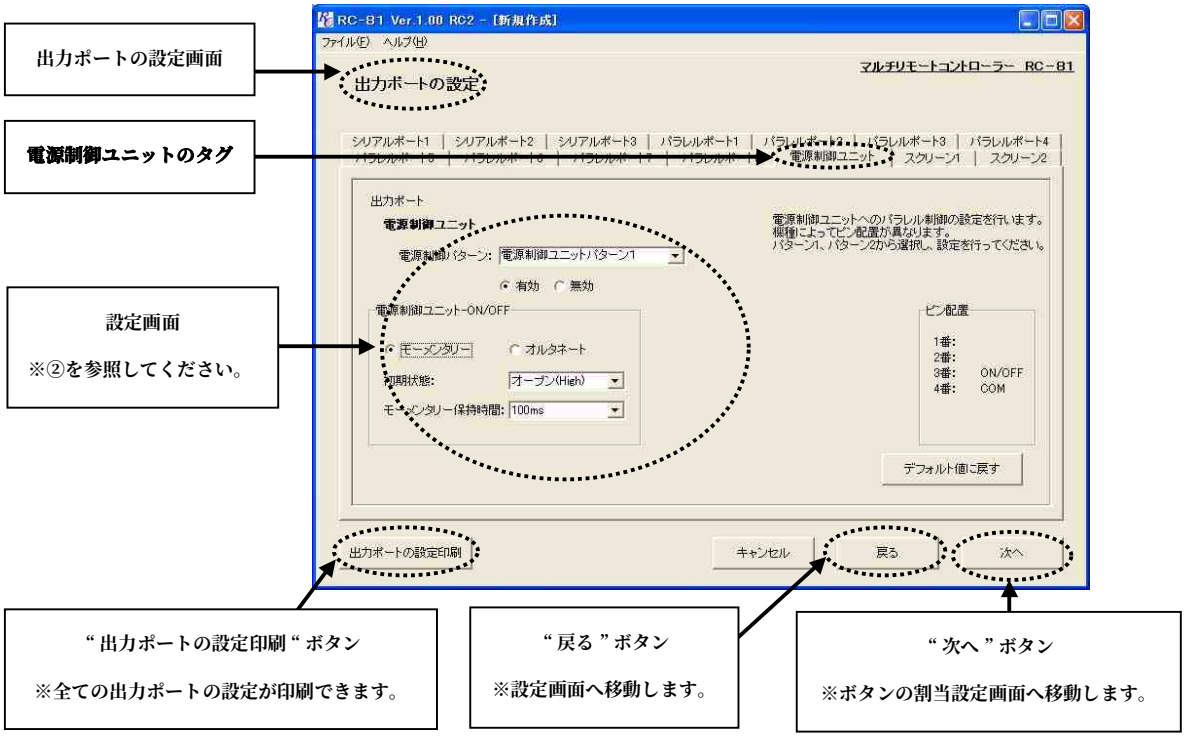
設定項目	パラレルポート 1～8	
	選択範囲	初期値
ポートの 有効／無効設定	・有効 ・無効	無効
モーメンタリ／ オルタネート設定	・モーメンタリ ・オルタネート	モーメンタリ
初期状態	・オープン（High） ・クローズ（Low）	オープン（High）
モーメンタリ 保持時間の設定	・10ms ・50ms ・100ms ・150ms ・200ms	100ms

～パラレルポートの設定項目値～

７－４－４．電源制御ユニット出力ポートの設定

①．電源制御ユニットのタグを選択する

出力ポートの設定画面から、電源制御ユニットを選択してください。対象機器の制御仕様に応じて設定を行ないます。



～出力ポートの設定画面～

②．各設定を行なう

出力ポートを有効にします。続いて、接続機器との電気的な設定を行ないます。電源制御ユニットに応じてピンアサインを選択することができます。選択は電源制御パターンのプルダウンメニューから行ないます。

- 電源制御ユニットパターン１；
  オルタネート接点制御仕様の場合、こちらの設定を選択してください（次ページ③を参照してください）。
- 電源制御ユニットパターン２；
  モーメンタリ接点制御仕様の場合、こちらの設定を選択してください（次ページ④を参照してください）。

③. 電源制御ユニットパターン１

オルタネートの接点制御の場合、こちらを選択します。

⑦ 下記の設定を行なう。

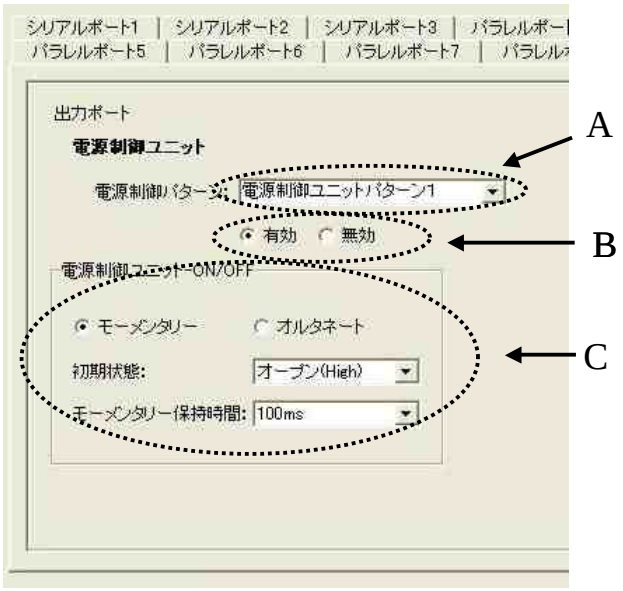
A. パターンの選択（ピンアサインの選択）

B. ポートを有効にする

C. 動作設定 →

- モーメンタリ／オルタネートの選択
  ※モーメンタリも設定できるようになっておりますが、基本的にオルタネートに設定してください
- 初期状態の設定
- 保持時間の設定（モーメンタリ選択時のみ）

～パターン１のピンアサイン表～

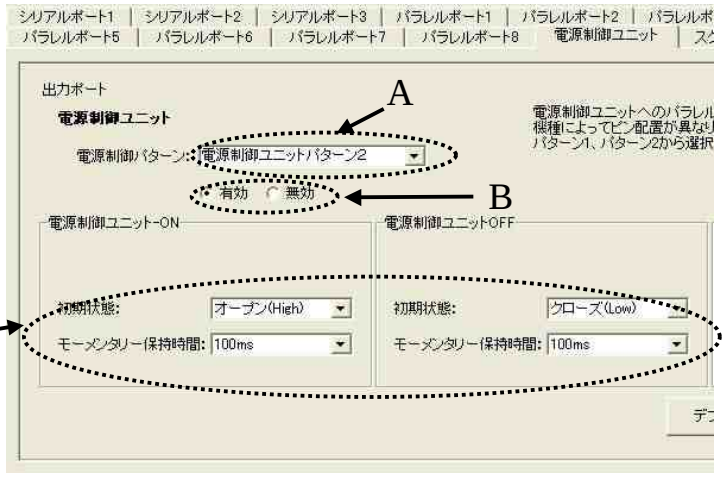


～電源制御ユニットパターン１の設定画面～

④. 電源制御ユニットパターン２

モーメンタリの接点制御の場合、こちらを選択します。

～パターン２のピンアサイン表～



～電源制御ユニットパターン２の設定画面～

C →

注意

※ON 時・OFF 時　設定してください

電源制御ユニットの出力に関する設定項目値は、以下の通りです。

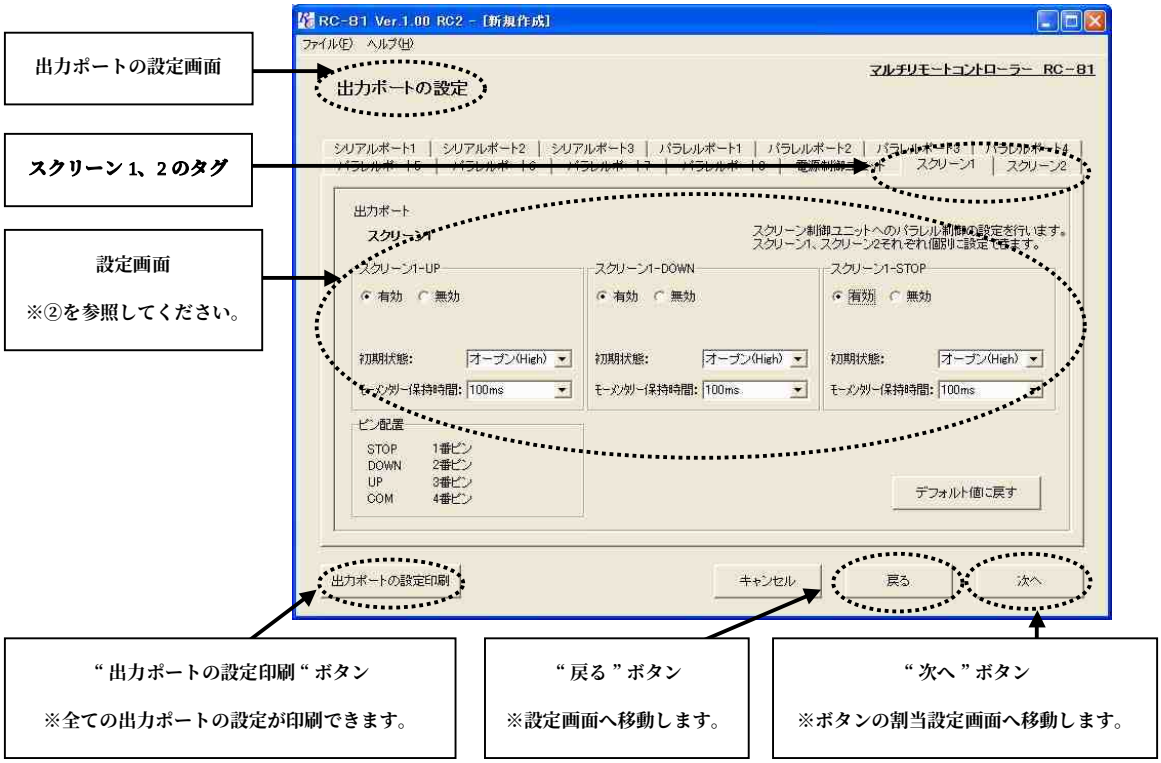
設定項目	電源制御ユニットパターン 1		電源制御ユニットパターン 2			
	電源制御ユニット ON/OFF モード		電源制御ユニット-ON モード		電源制御ユニット-OFF モード	
	選択範囲	初期値	選択範囲	初期値	選択範囲	初期値
ポートの 有効／無効設定	・有効 ・無効	無効	・有効 ・無効	無効	・有効 ・無効	無効
モーメンタリ／ オルタネート設定	・オルタネート ・モーメンタリ	オルタネート	・モーメンタリ	モーメンタリ	・モーメンタリ	モーメンタリ
初期状態	・オープン (High) ・クローズ (Low)	オープン (High)	・オープン (High) ・クローズ (Low)	オープン (High)	・オープン (High) ・クローズ (Low)	オープン (High)
モーメンタリ 保持時間の設定	―	―	・10ms ・50ms ・100ms ・150ms ・200ms	100ms	・10ms ・50ms ・100ms ・150ms ・200ms	100ms

～電源制御ユニットの設定項目値～

７－４－５．スクリーン出力ポートの設定

①．スクリーンのタグを選択する

出力ポートの設定画面から、スクリーン１、もしくはスクリーン 2 を選択してください。制御する内容に応じて設定を行ないます。



～出力ポートの設定画面～

②．各設定を行なう

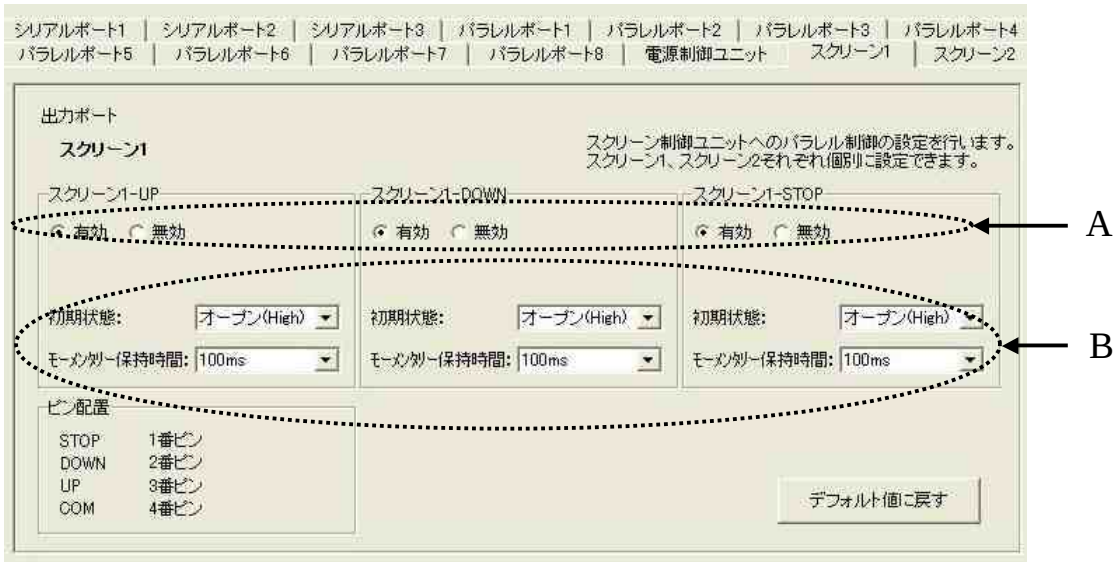
出力ポートを有効にします。続いて、接続機器との電気的な設定を行ないます。電源制御ユニットに応じてピンアサインを選択することができます。選択は電源制御パターンのプルダウンメニューから行ないます。

⑦ 下記の設定を行なう。

A．ポート有効にする

B．動作設定 ⟶

- 初期状態の設定
- 保持時間の設定



～スクリーン出力の設定画面～

スクリーンの出力に関する設定項目値は、以下の通りです。

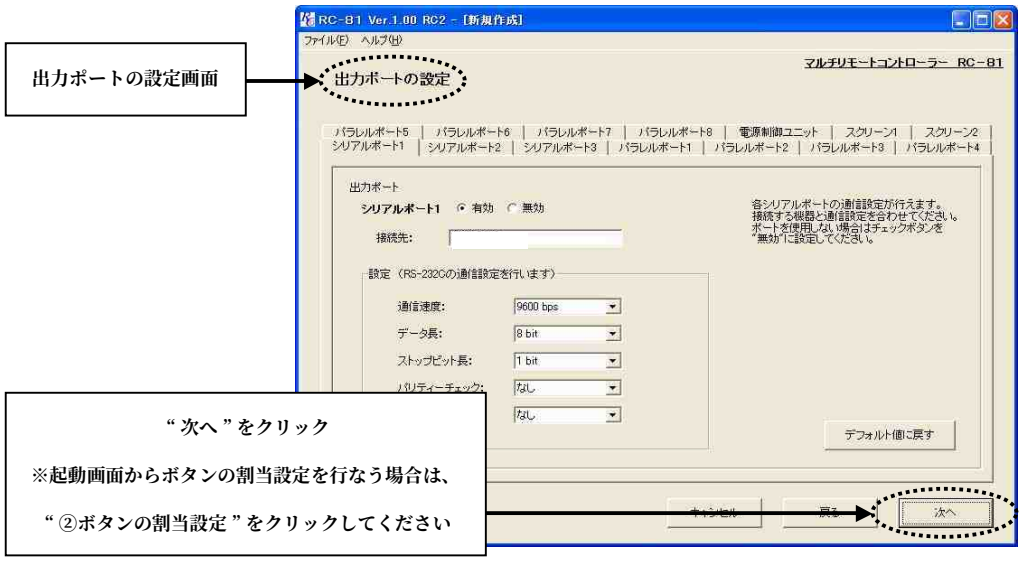
設定項目	スクリーン 1-UP		スクリーン 1-DOWN		スクリーン 1-STOP	
	選択項目	初期値	選択項目	初期値	選択項目	初期値
ポートの 有効／無効設定	・有効 ・無効	無効	・有効 ・無効	無効	・有効 ・無効	無効
モーメンタリー／ オルタネート設定	・モーメンタリ	モーメンタリ	・モーメンタリ	モーメンタリ	・モーメンタリ	モーメンタリ
初期状態の設定	・オープン (High) ・クローズ (Low)	オープン (High)	・オープン (High) ・クローズ (Low)	オープン (High)	・オープン (High) ・クローズ (Low)	オープン (High)
モーメンタリー 保持時間の設定	・10ms ・50ms ・100ms ・150ms ・200ms	100ms	・10ms ・50ms ・100ms ・150ms ・200ms	100ms	・10ms ・50ms ・100ms ・150ms ・200ms	100ms

～スクリーンの設定項目値～

７－５．ボタンの割当設定

①.“次へ”をクリックしてボタンの割当画面を表示する

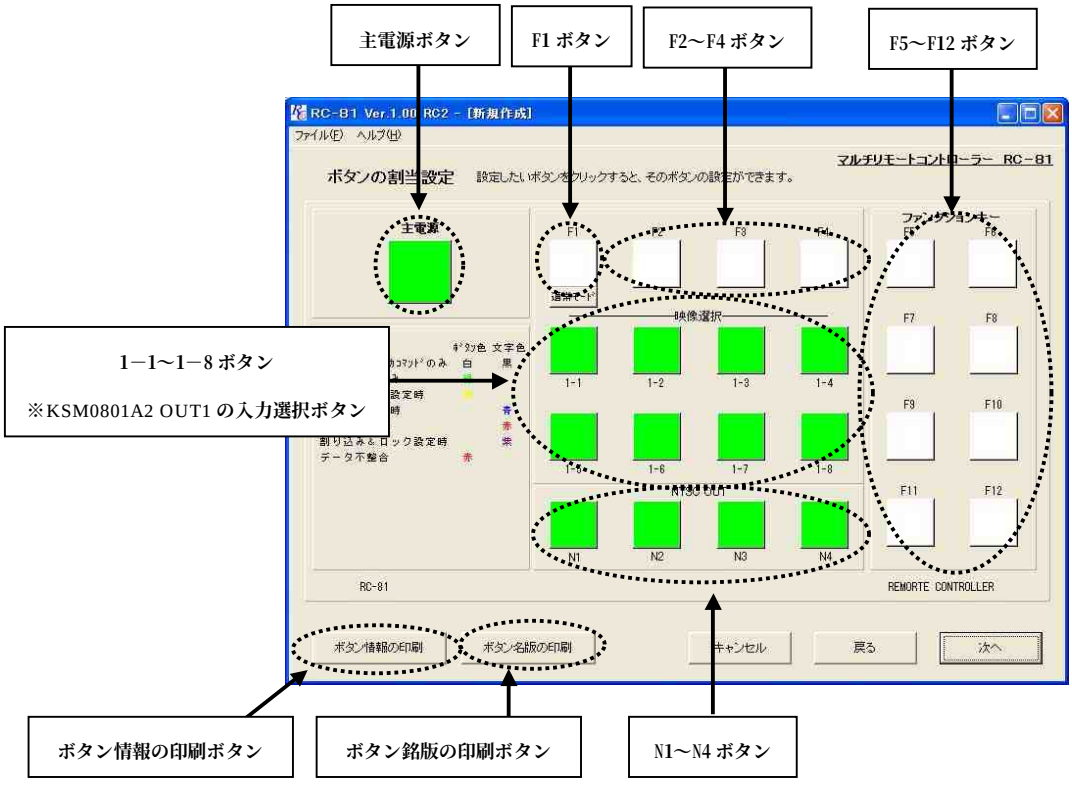
出力ポートの設定画面から、次へをクリックしてください。ボタンの割当設定画面が表示されます。



～出力ポートの設定画面～

②. ボタンの配置画面

RC-81 本体と同じボタン配置の画面が表示されます。登録したいボタンをクリックして登録画面へ進んでください。画面構成は下図の通りです。



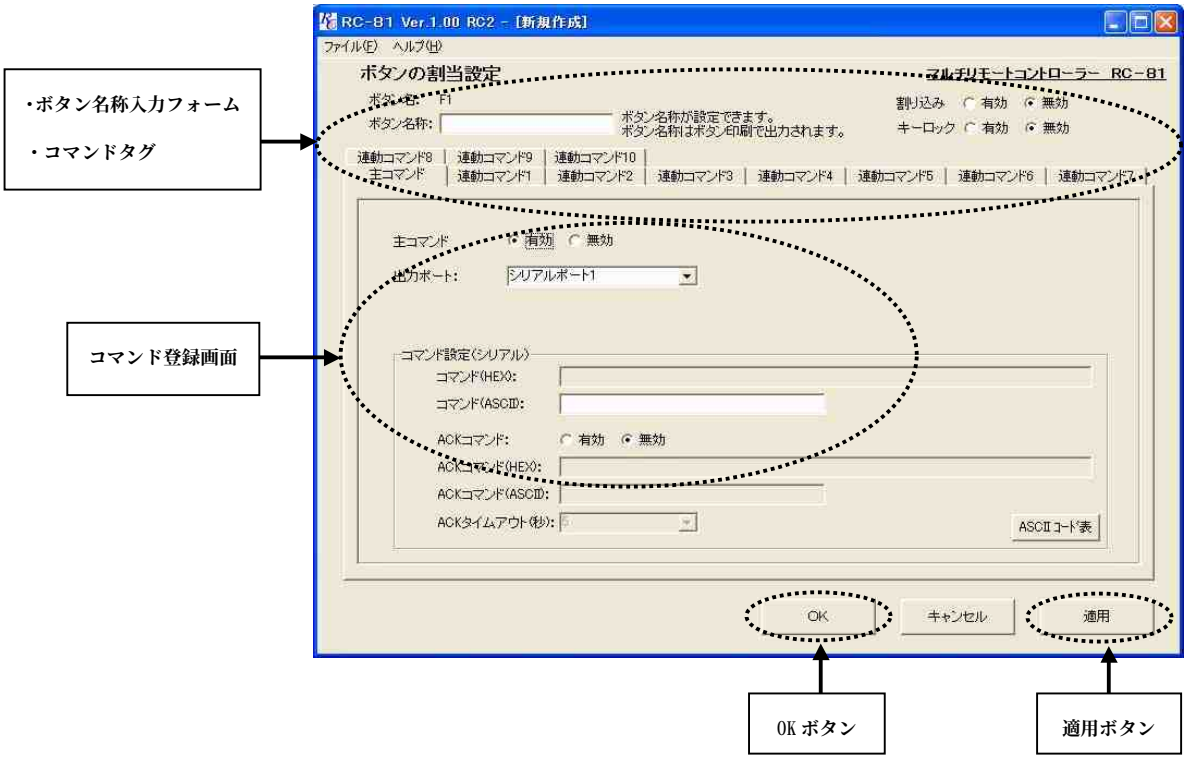
～ボタンの割当設定画面～

７－６．ボタンへのコマンド登録

７－６－１．ボタンの割当設定画面

①．各ボタンの割当設定画面の構成

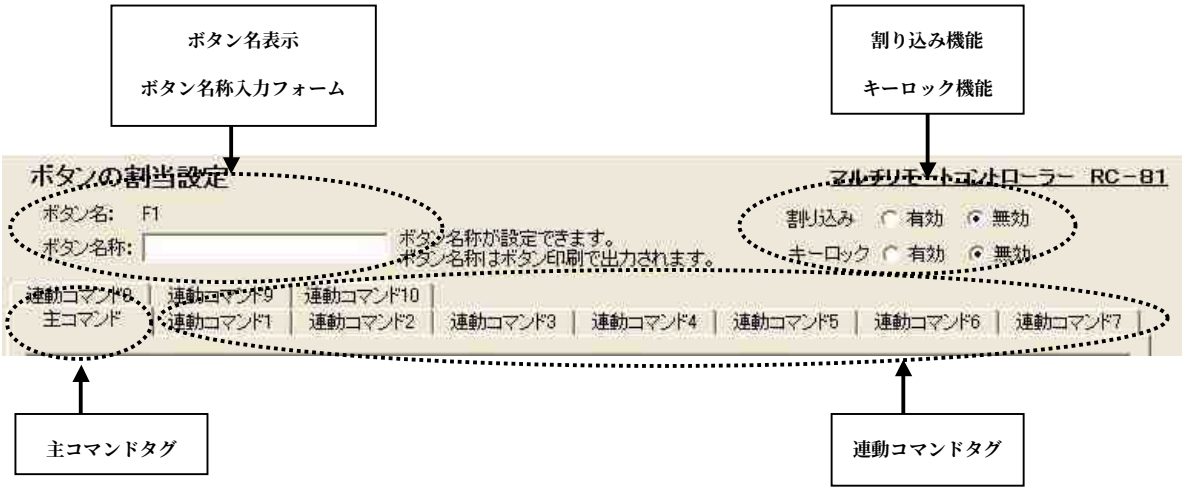
ボタン配置の画面から、任意のスイッチをクリックすると、登録画面が表示されます。主コマンドと、連動コマンド 1～10 で構成されており、どのようなコマンドを、どの出力ポートに、どのような順番で実行させるかを設定します。



～ボタンの割当設定画面～

②．ボタン名称を入力する

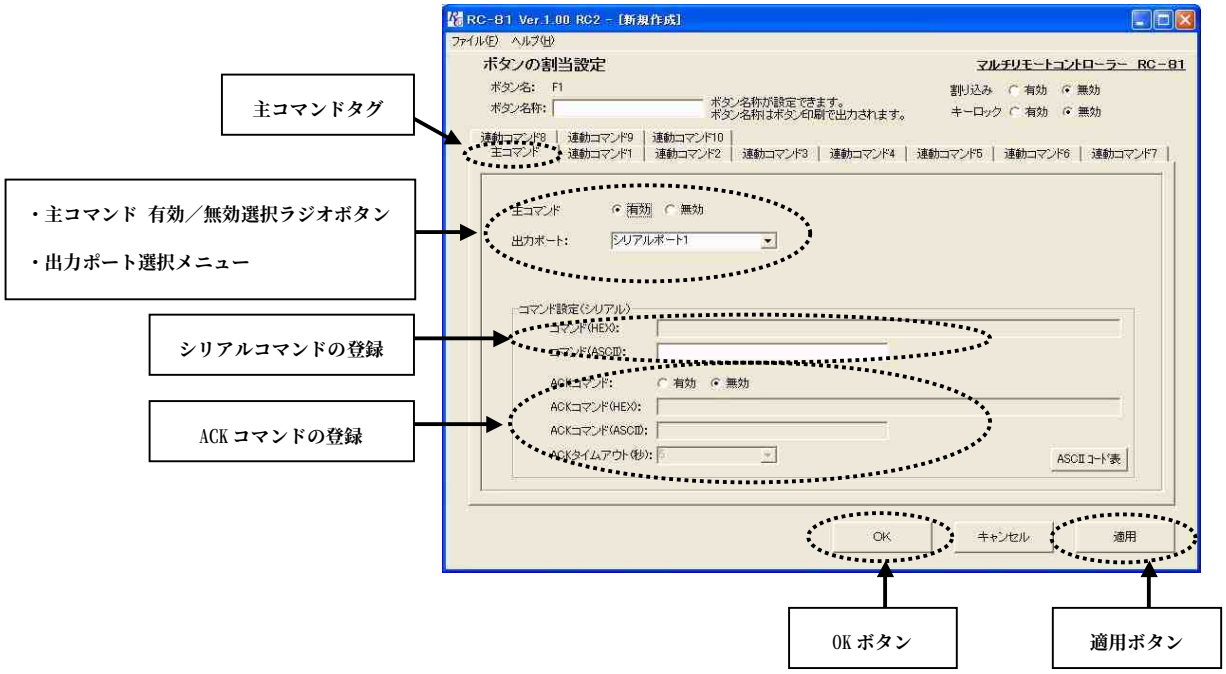
登録するボタンの名称を入力してください。入力されたボタン名称は、“ボタン銘版の印刷機能”から、RC-81 本体のボタンサイズで印刷することができます。



②．主コマンドを有効にする

主コマンドタグをクリックすると、下図の画面が表示されます。主コマンドを有効にし、どのポートに出力するか、出力ポートのプルダウンメニューから選択してください。選択したポートの出力形態（シリアル、パラレルなど）に応じて、入力フォームは切り替わります。

下図の場合、シリアルポート１を選択したので、入力フォームはシリアルコマンドの入力画面が表示されました。



～ボタンの割当設定画面～

続いて、コマンドの登録などの各設定を行ないます。

- **シリアルコマンドの登録・設定　→“7-6-2．シリアルコマンドの登録設定”**
- **パラレル出力の設定/電源制御ユニット出力の設定/スクリーン出力の設定**

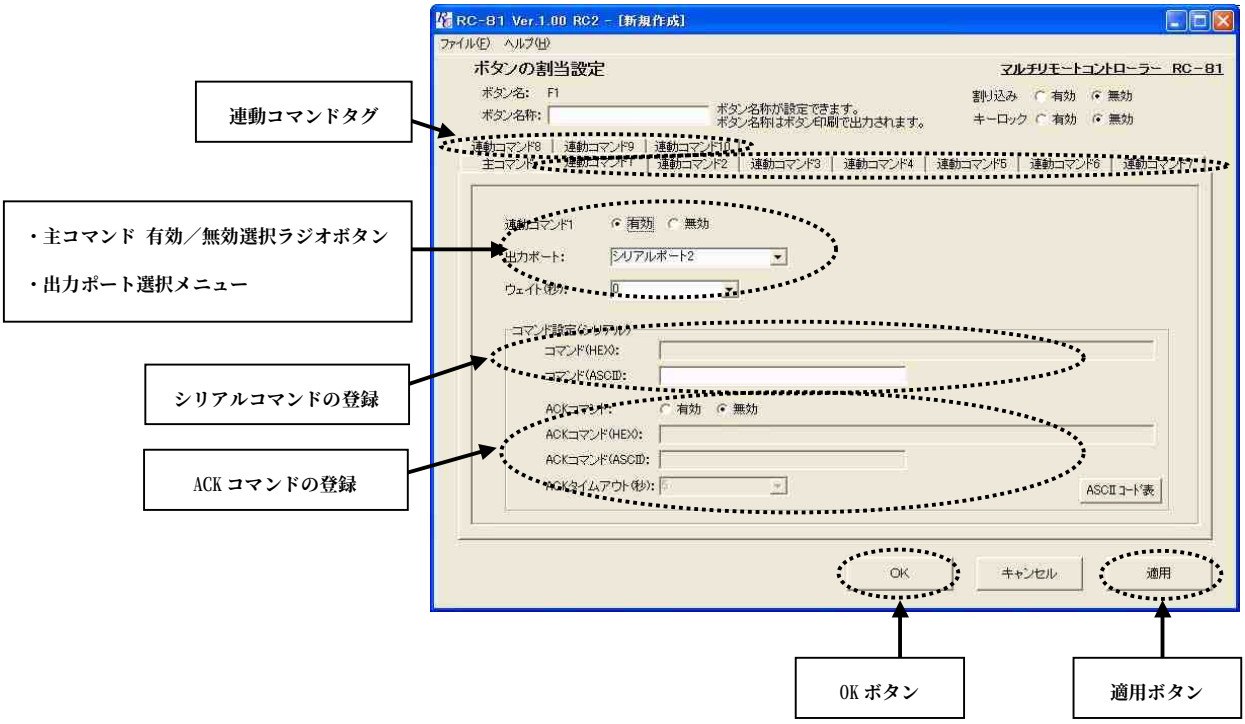
→“7-6-3．パラレル出力の設定/電源制御ユニット出力の設定/スクリーン出力の設定

③．連動コマンドを有効にする

主コマンド同様、連動コマンド 1（連動コマンド 2 を選択してもかまいません。主コマンド → 連動コマンド 2 の順で実行されます。）タグをクリックすると、下図の画面が表示されます。

連動コマンドを有効にし、どのポートに出力するか、出力ポートのプルダウンメニューから選択してください。選択したポートの出力形態（シリアル、パラレルなど）に応じて、入力フォームは切り替わります。

下図の場合、シリアルポート 1 を選択したので、シリアルコマンドの入力画面が表示されました。



～ボタンの割当設定画面～

続いて、コマンドの登録などの各設定を行ないます。

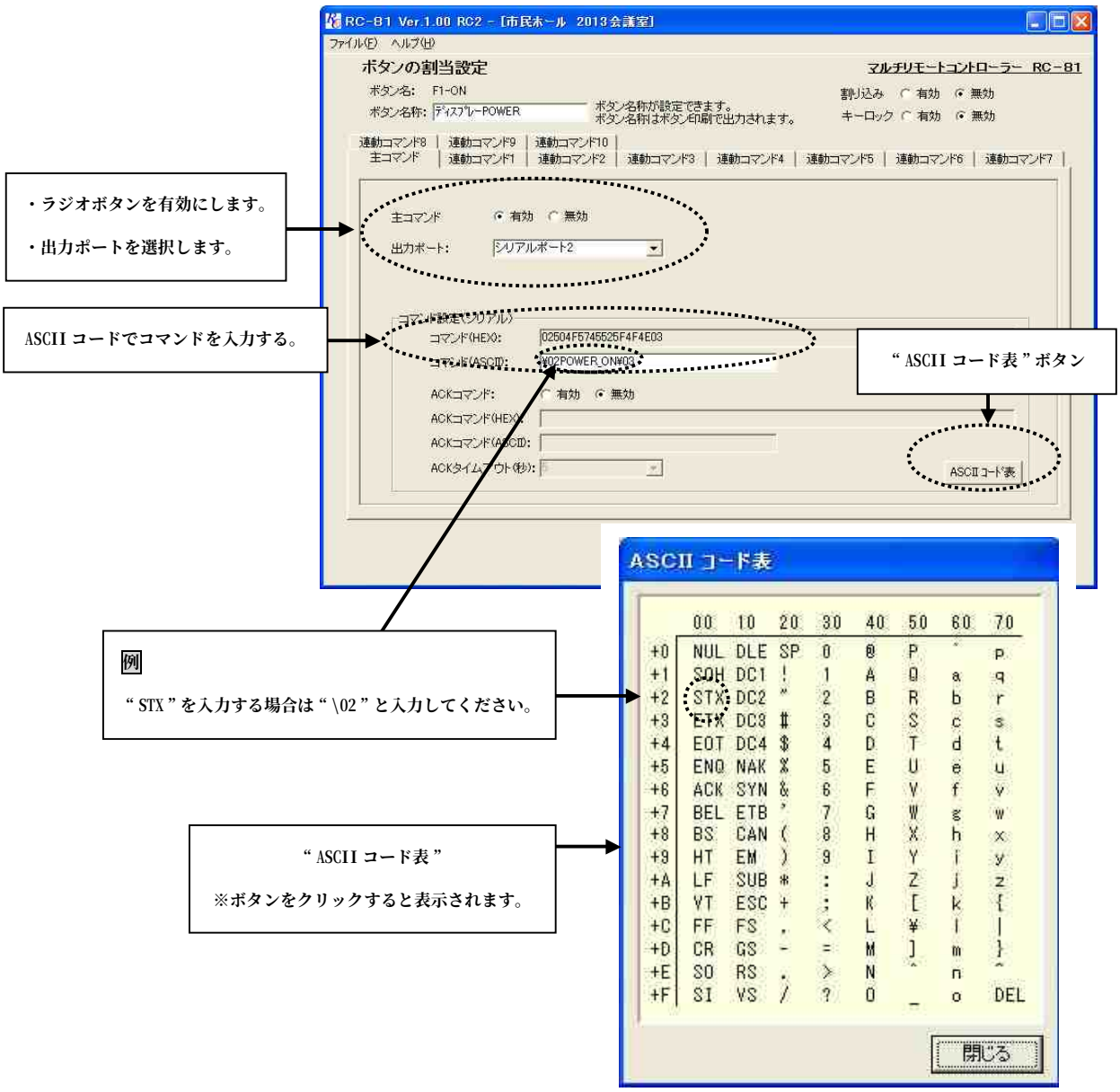
- **シリアルコマンドの登録・設定　→“7-6-2．シリアルコマンドの登録設定”**
- **パラレル出力の設定/電源制御ユニット出力の設定/スクリーン出力の設定**
  →“7-6-3．パラレル出力の設定/電源制御ユニット出力の設定/スクリーン出力の設定

７－６－２．シリアルコマンドの登録・設定

シリアルコマンドの登録を行ないます。主コマンド（連動コマンド）を有効にし、出力ポートをシリアルポート１～３から選択します。設定方法および注意事項を下記に示します。

- コマンドは“コマンド（ASCII）”の欄に、ASCII コードにて入力してください。その際、“STX”や“ETX”など、キーボードから直接入力のできないコマンドがあります。その類のコマンドに関しては**“\”マークのあとに HEX コードで入力してください**。また、HEX コードがわからない場合は、画面上“ASCII コード表”をクリックすると、変換表が表示されますので、参考にしてください。
- ACK コマンドの設定に関しては“8－4. ACK コマンドの登録、ACK タイムアウト”をご覧ください。

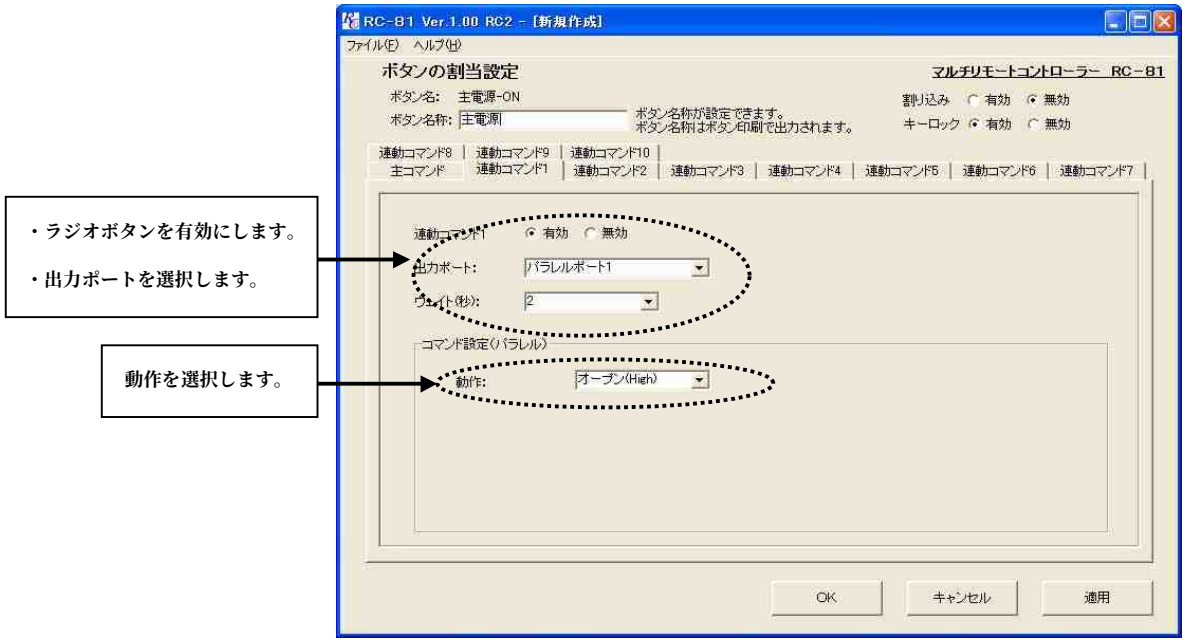
注意 ・ 登録可能なシリアルコマンド長は最大 40 バイトになります。



７－６－３．パラレル出力の設定/電源制御ユニット出力の設定/スクリーン出力の設定

パラレル出力の設定/電源制御ユニット出力の設定/スクリーン出力の設定は、基本的に全て共通です。

主コマンド（連動コマンド）を有効にしてください。次に、出力ポートのプルダウンメニューから、パラレル出力ポート１～８、電源制御ユニット ON/OFF（OFF）、スクリーン UP（STOP、DOWN）のいずれかを選択し、最後にその動作を選択してください。動作はオープン（High）、クローズ（Low）のいずれかになります。



～ボタンの割当設定画面～

７－７．登録データの保存

出力ポートの設定、ボタンの割当設定が終了したら、ファイルへの保存作業を行ないます。

上書き保存

既存データから編集などを行ない、そのファイルに上書きする場合にクリックします。ただし、新規作成モード時は表示されません。

名前をつけて保存

新規作成モード時のファイルへの保存や、既存データの編集などを行ない、別名で保存したい場合などにクリックします。

７－８．登録データの書き込み

PC を利用して、作成した登録データを RC-81 本体へ書き込みます。RC-81 本体と PC とは RS－232C（クロスケーブル）で接続し、通信します。

書き込み時間はプログラムの大きさにもよりますが、約 3 分かかります。書き込み中は、作業進捗状況を画面上にインジケータで表示します。通信中は直接 RC-81 本体のメモリー部へ書き込みを行なっていますので、**ケーブルの抜き差しは絶対に行なわないでください。RC-81 本体が正常に動作しなくなる可能性があります。**

1. 機材をそろえる

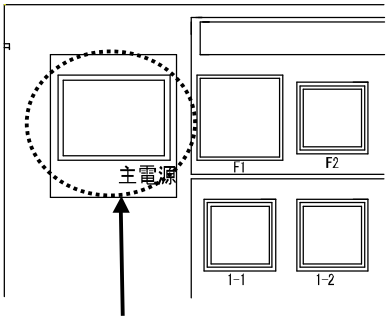
RC-81 本体に登録データを書き込むには以下の機器が必要になります。

- RS－232C の通信可能な PC
- RC－81
- RS－232C 用クロスケーブル

2. 機材を接続、設定する

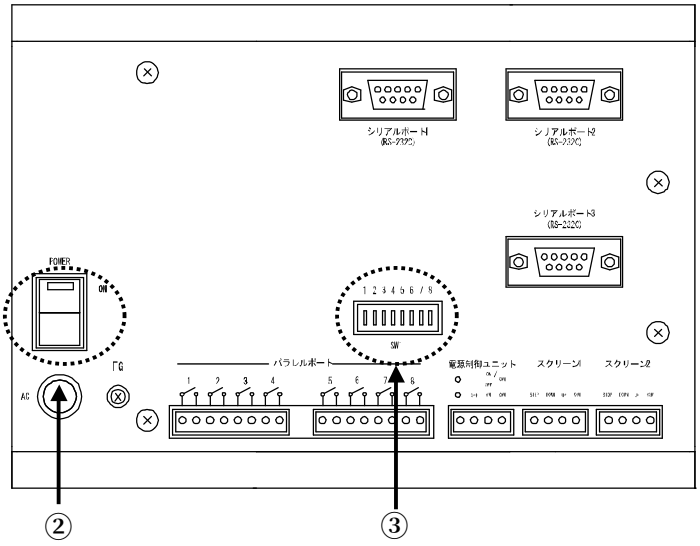
下記の要領で機器を接続、設定してください。

- RC-81 本体底面の電源スイッチ(①)を ON にして、約 5 秒後に、前面の**主電源ボタンのランプが点灯していない**ことを確認してください。点灯している場合は、主電源ボタンを押下してランプを消灯させてください。



①

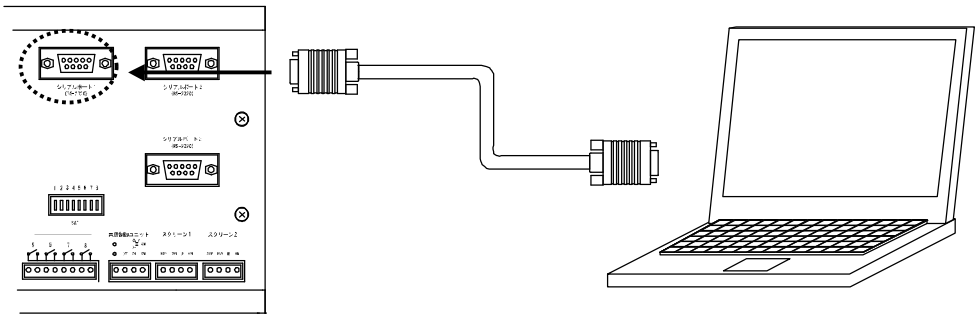
- RC-81 本体底面の電源スイッチ(②)を OFF にしてください。
- RC-81 本体底面の DIP スイッチ(③)の 1 番を ON にしてください。



③

②

・ 用意した PC と RC-81 本体を **RS－232C　クロスケーブルで接続**してください。（下図）



・ RC-81 本体底面の電源スイッチ(②)を ON にしてください。
・ ユーティリティーソフトを起動してください。起動画面が立ち上がります。
・ ユーティリティーソフトの起動画面で“データの書き込み”をクリックしてください。

3. データを書き込む

下記の要領で書き込み作業を行なってください。

・ ユーティリティーソフトの起動画面で“データの書き込み”をクリックすると、“ファイルを開く”の画面が表示されます。書き込む登録データを選択し“開く”をクリックしてください。データの書き込み画面が表示されます。
・ 書き込むべきファイル名かどうかを確認し、“書き込み”ボタンをクリックします。
・ 書き込みが始まると、画面上に書き込み中のインジケータが表示されます。また、**接続が正しくなかったり、PC の COM ポートの設定などが間違っていて、通信が正常に行われない場合、“通信オープンエラー”が表示されます。**再度、接続や、設定を確認してください。ユーティリティーソフト側の COM ポートの設定に関しては、**“7-10. COM ポートの設定”**を参照してください。
・ 書き込みが正常に終了すると、インジケータがフルの状態になり、“書き込みを終了しました”のメッセージを表示します。“OK”ボタンをクリックして、ユーティリティーソフトを終了してください。これで書き込み作業は終了です。
・ RC-81 本体底面の電源スイッチを OFF にしてください。

4. RC-81 本体を元の状態へ戻す

・ RC-81 本体から RS-232C　クロスケーブルを抜いてください。
・ RC-81 本体底面の DIP スイッチ(③)　1 番を OFF にしてください。
・ RC-81 本体底面の電源スイッチ(②)を ON にしてください。
・ RC-81 本体前面の全スイッチが一度点灯し、約 2 秒後に消灯します。これで、RC-81 本体の初期化が終了し、書き込んだプログラムデータが各ボタンに反映された状態になります。

７－９．登録データの読み出し

既に RC-81 本体に書き込まれているプログラムデータを、PC を利用して読み込むことができます。RC-81 本体と PC とは RS－232C（クロスケーブル）で接続し、通信します。

読み込み時間はプログラムの大きさにもよりますが、約 3 分かかります。読み込み中は、作業進捗状況を画面上にインジケータで表示します。通信中は直接 RC-81 本体のメモリー部へアクセスを行なっていますので、**ケーブルの抜き差しは絶対に行なわないでください。RC-81 本体が正常に動作しなくなる可能性があります。**

注意　**・ボタン名称、接続先のデータは RC-81 本体に書き込まれない為、読み込みはできません。**

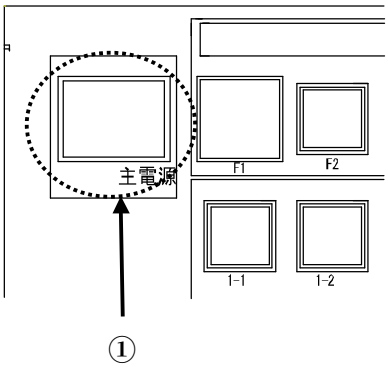
①. 機材をそろえる

RC-81 本体に登録データを読み込むには以下の機器が必要になります。

- RS－232C の通信可能な PC
- RC－81
- RS－232C 用クロスケーブル

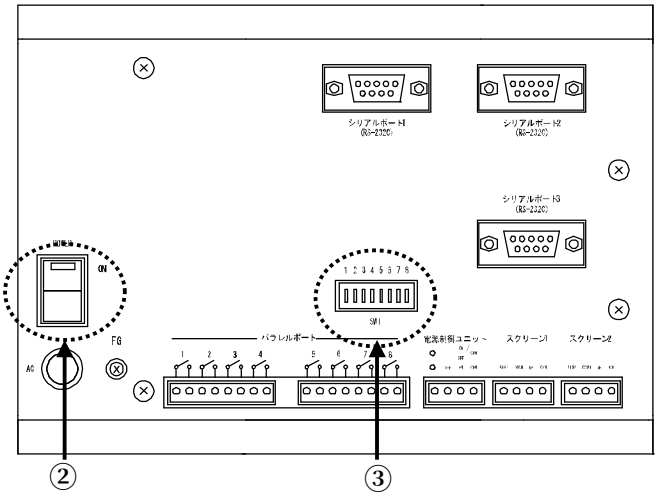
②. 機材を接続、設定する

下記の要領で機器を接続、設定してください。

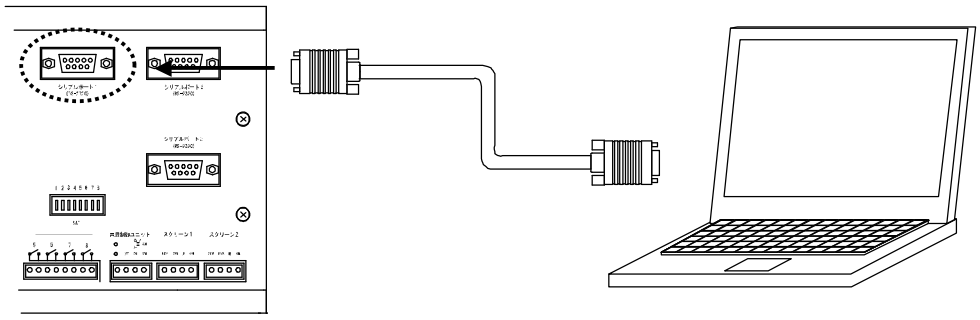


RC-81 本体底面の電源スイッチ(①)を ON にして、約 5 秒後に、前面の**主電源ボタンのランプが点灯していない**ことを確認してください。点灯している場合は、主電源ボタンを押下してランプを消灯させてください。

- RC-81 本体底面の電源スイッチ(②)を OFF にしてください。
- RC-81 本体底面の DIP スイッチ(③)の 1 番を ON にしてください。



・ 用意した PC と RC-81 本体を **RS－232C　クロスケーブルで接続**してください。（下図）



・ RC-81 本体底面の電源スイッチ(②)を ON にしてください。
・ ユーティリティーソフトを起動してください。起動画面が立ち上がります。
・ ユーティリティーソフトの起動画面で“データの読み込み”をクリックしてください。

③．データを読み込む

下記の要領で読み込み作業を行なってください。

・ ユーティリティーソフトの起動画面で“データの読み込み”をクリックするとすぐに RC-81 本体との通信を開始し、読み込みを行ないます。
・ 読み込みが始まると、Windows 上に読み込みのインジケータが表示されます。また、**接続が正しくなかったり、PC の COM ポートの設定などが間違っていて、通信が正常に行われない場合、“通信オープンエラー”が表示されます。**再度、接続や、設定を確認してください。ユーティリティーソフト側の COM ポートの設定に関しては、**“7-10．COM ポートの設定”**を参照してください。
・ 読み込みが正常に終了すると、インジケータがフルの状態になり、“読み込みを終了しました”のメッセージを表示します。“OK”ボタンをクリックして、ユーティリティーソフトを終了してください。これで読み込み作業は終了です。
・ RC-81 本体底面の電源スイッチを OFF にしてください。

④．RC-81 本体を元の状態へ戻す

・ RC-81 本体から RS－232C　クロスケーブルを抜いてください。
・ RC-81 本体底面の DIP スイッチ(③)　1 番を OFF にしてください。
・ RC-81 本体底面の電源スイッチ(②)を ON にしてください。
・ RC-81 本体前面の全スイッチが一度点灯し、約 2 秒後に消灯します。これで、RC-81 本体の初期化が終了し、もとの運用状態へ戻ります。

７－１０．COM ポートの設定

PC と RC-81 本体を通信する際に、PC 側と、ユーティリティーソフト側で、COM ポートの設定をあわせる必要があります。

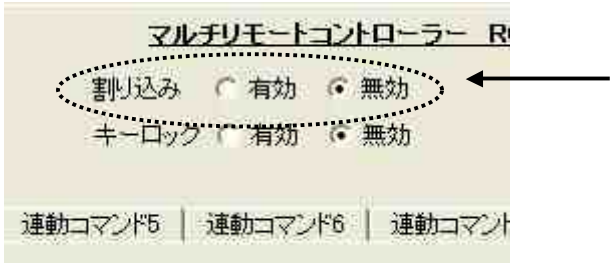
PC 側の COM ポートの設定は Windows OS のデバイスマネージャー等から、COM ポート設定を確認してください。詳しくは PC、OS の取扱説明書をご覧ください。

COM ポートの設定を行なう

ユーティリティーソフト側では COM ポート１～８の範囲で設定が可能です。

８．各種機能

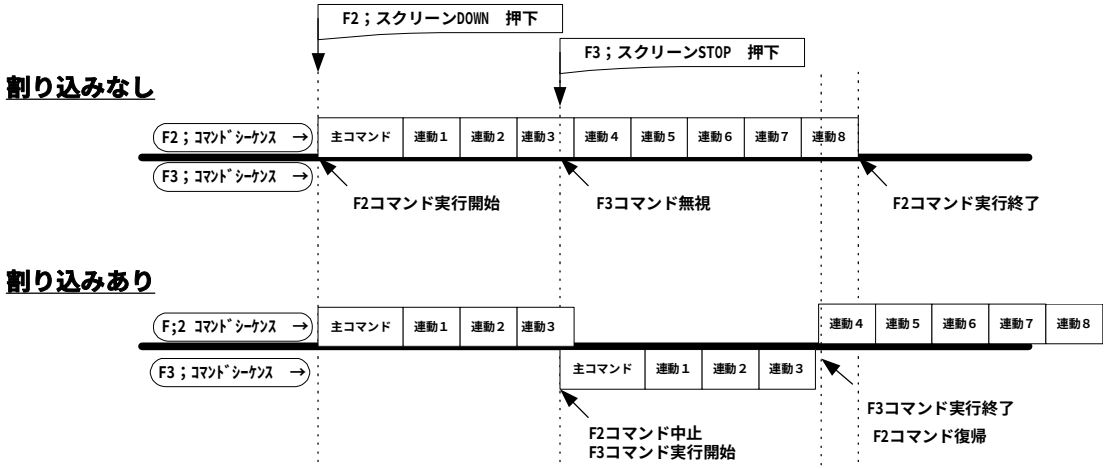
８－１．割り込み機能



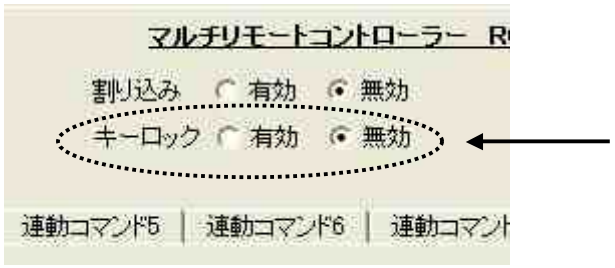
ある登録されたボタン動作の実行中に、割り込み機能が有効になっているボタンを押すと、その実行中のシーケンス動作を中止し、後押し（割り込みが有効）のボタン動作を実行することができます。

動作例

スクリーン DOWN ボタンにウェイト機能やたくさんの動作を登録した場合、通常その動作が実行されるまで次のボタン動作を受け付けないので、スクリーンの緊急停止ができませんが、割り込み機能を使うと実行することができます。



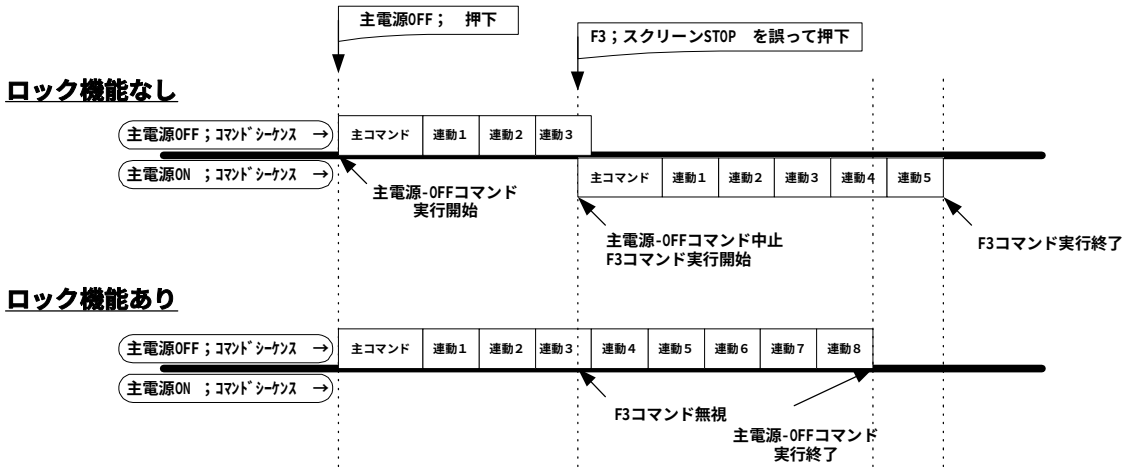
８－２．ロック機能



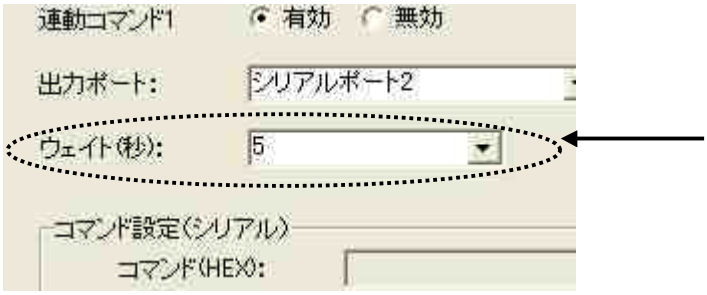
割り込みより上位の機能です。ロック機能を有効にしたボタンは、割り込み機能を有効にしたボタンが押下されても、割り込みされません。

動作例

主電源-OFF ボタンで、プロジェクターの電源 OFF や、スイッチャーの初期化、音量の MUTE、電源制御ユニットの OFF などを実行させているとき、ユーザーが誤って他のボタン（特に割り込みが有効になっているボタン）を押下してしまったときに、終了動作プログラムが途中で中止されるのを防ぐことができます。



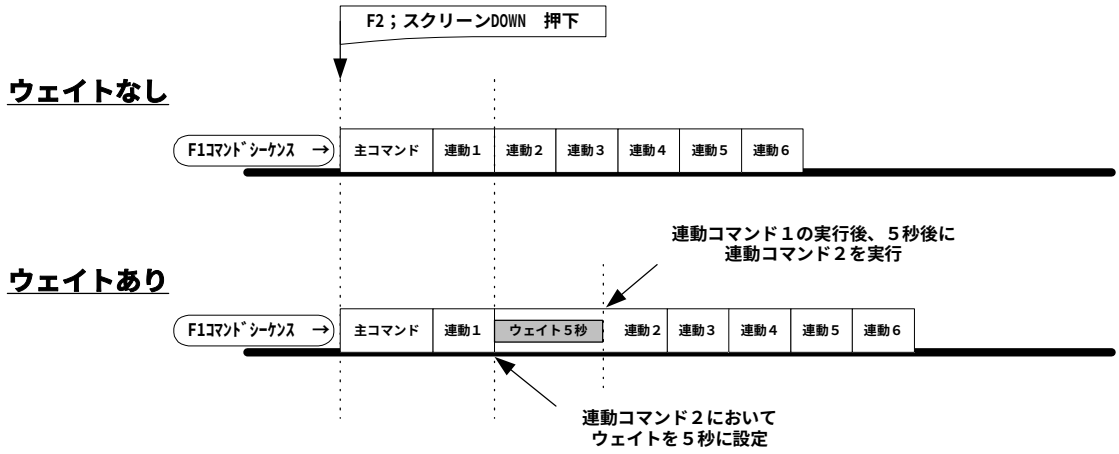
８－３．ウェイト機能



１つのボタン動作において、コマンド間の時間間隔を設定することができます。

動作例

- RS-232C でプラズマディスプレイの電源 ON コマンドを発行後、5 秒後に入力切り替えコマンドの発行を行ないたい場合。
- プロジェクターの電源 OFF に伴うクーリング時に、動作中であることを、ボタンの点滅で表現したい場合。



※“出力ポート”のプルダウンメニューから“ウェイト”という項目を選択することもできます。その場合、全てのポートに対してアクションは発生しません。

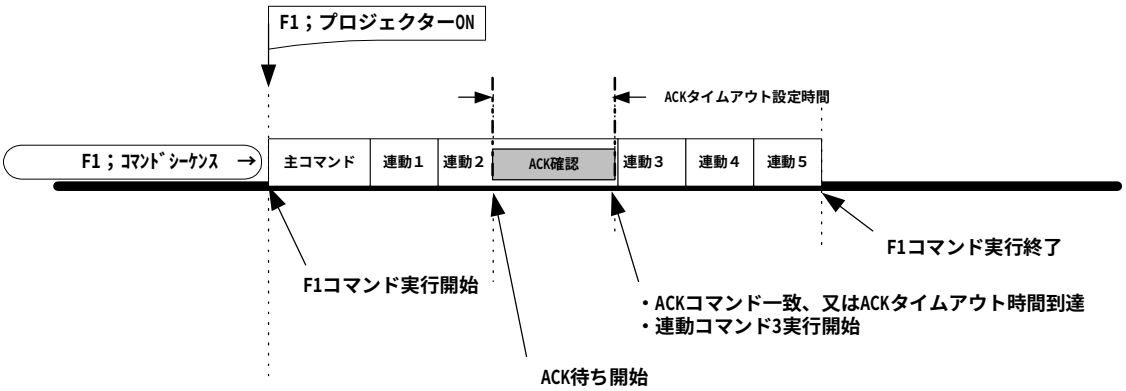
８－４．ACK コマンドの登録、ACK タイムアウト

制御機器のステータスの確認などで使用します。ACK コマンドが接続機器から帰ってきた場合、登録されたコマンド内容と比較し、一致したときに次の動作プログラムへと移ります。

また、万一異なる ACK が返ってきた時、ACK 自体が返ってこない場合のために、必ず ACK タイムアウト時間を設定します。

動作例

プロジェクターの電源 ON 時にステータスを確認してから、次の動作プログラムを実行したい場合。

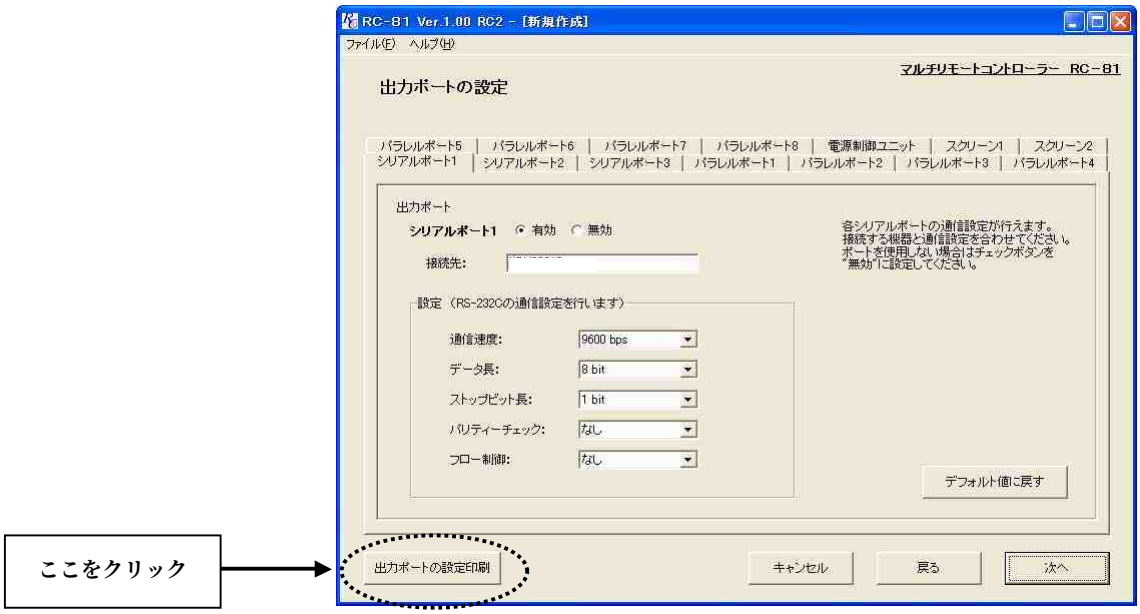


８－５．出力ポートの設定印刷

出力ポートの設定画面で、全ての設定状況をお手持ちのプリンターにて印刷出力することができます。

現場での設定確認や、資料作成時に役立ちます。

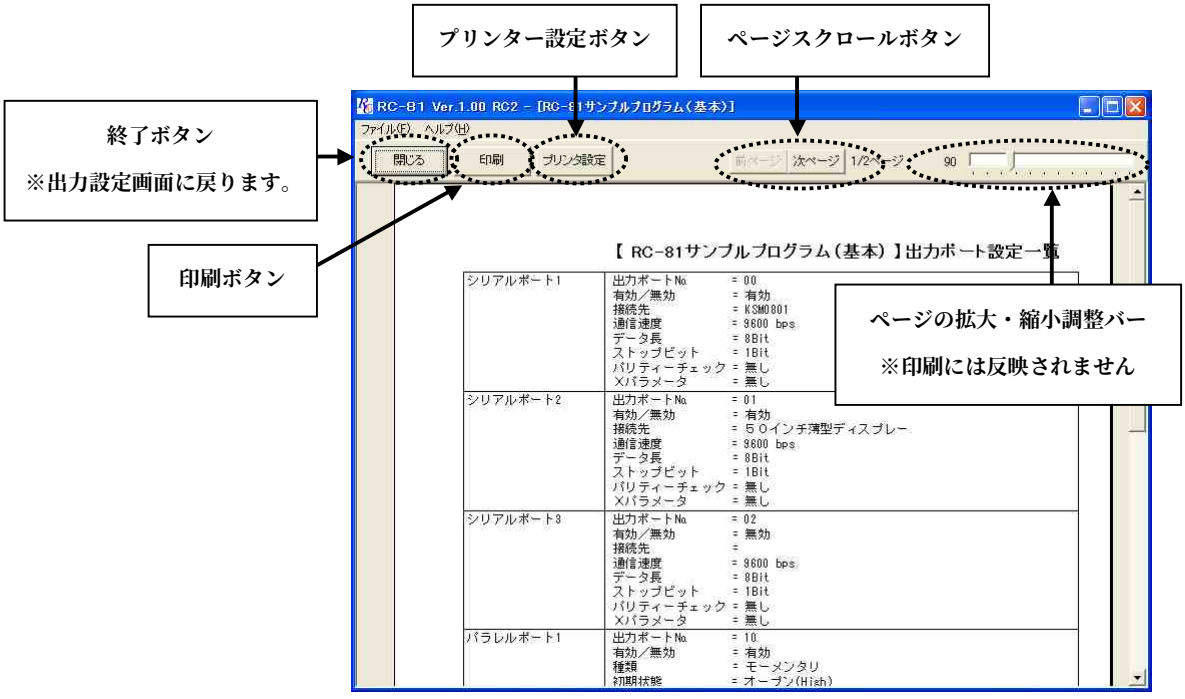
①．出力ポート設定画面下の“出力ポートの設定印刷”をクリックしてください



～出力ポート設定画面～

②．出力ポート設定印刷画面が表示されます

印刷時は、必ずプリンターの設定を行なってから、印刷ボタンを押してください。



～出力ポート設定印刷画面～

８－６．動作チェック表の印刷

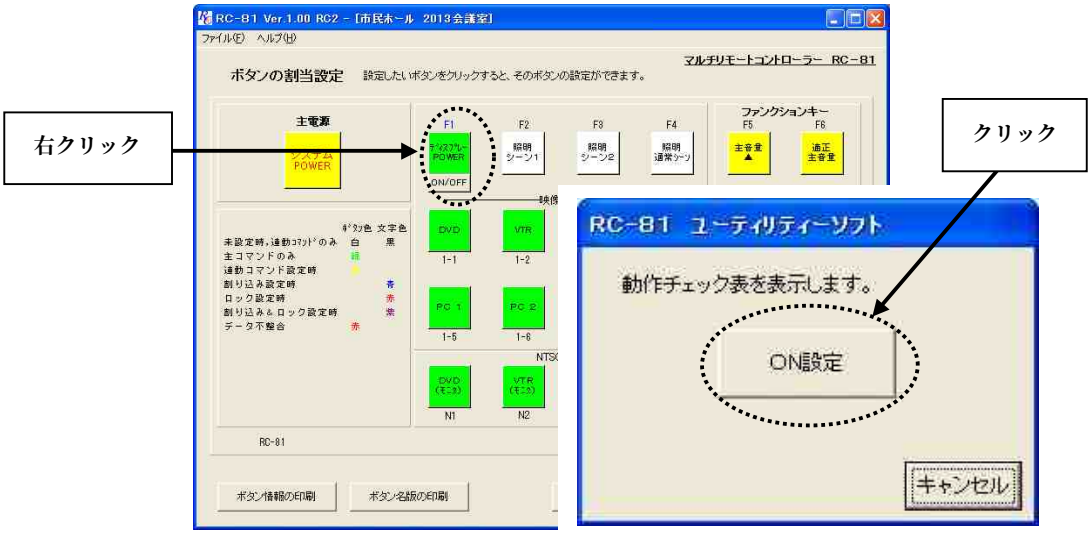
ボタン割当設定画面にて、各ボタンを右クリックすると、そのボタンに登録された１連のコマンドが表になって表示されます。（有効コマンドのみ表示されます。）

動作検証時など、そのボタンの動作プログラムを確認したいときなどに使用します。また、動作チェック表の印刷を行なうこともできます。なお、有効、無効コマンド全てを印刷する場合“ ボタン情報の印刷 ”をクリックしてください。

①．ボタンの割当設定画面で確認したいボタン上で右クリック

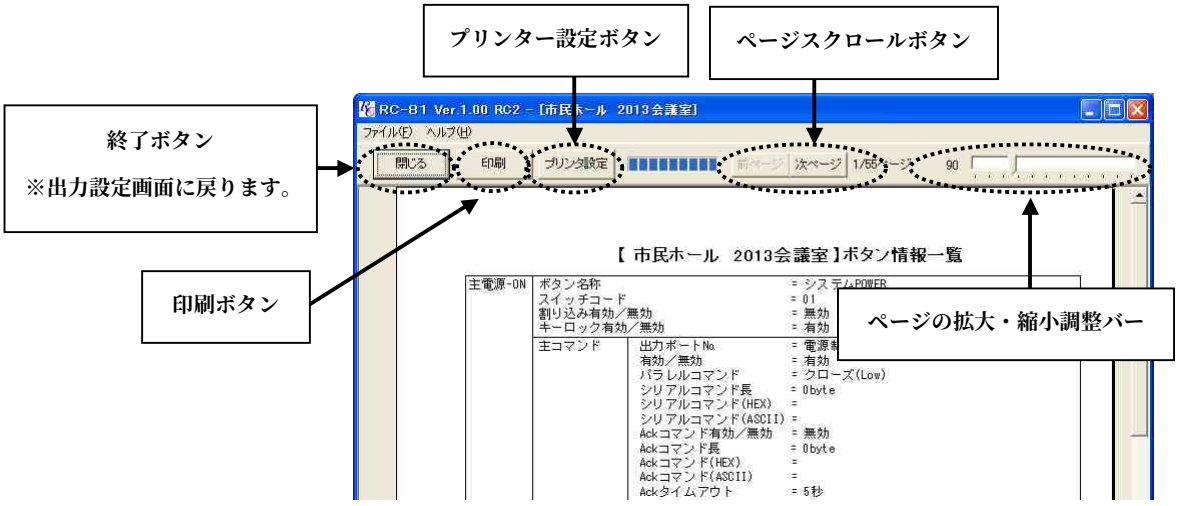
確認画面が表示されます。主電源、F1 は“ ON 設定 ”と、“ OFF 設定 ”から選択する必要があります。目的の設定をクリックしてください。そのほかは“ ON 設定 ”のみ表示されます。

※　F1 は通常モードでは“ ON 設定 ”のみの表示となります。



②．動作確認表が表示されます

印刷時は、必ずプリンターの設定を行なってから、印刷ボタンを押してください。



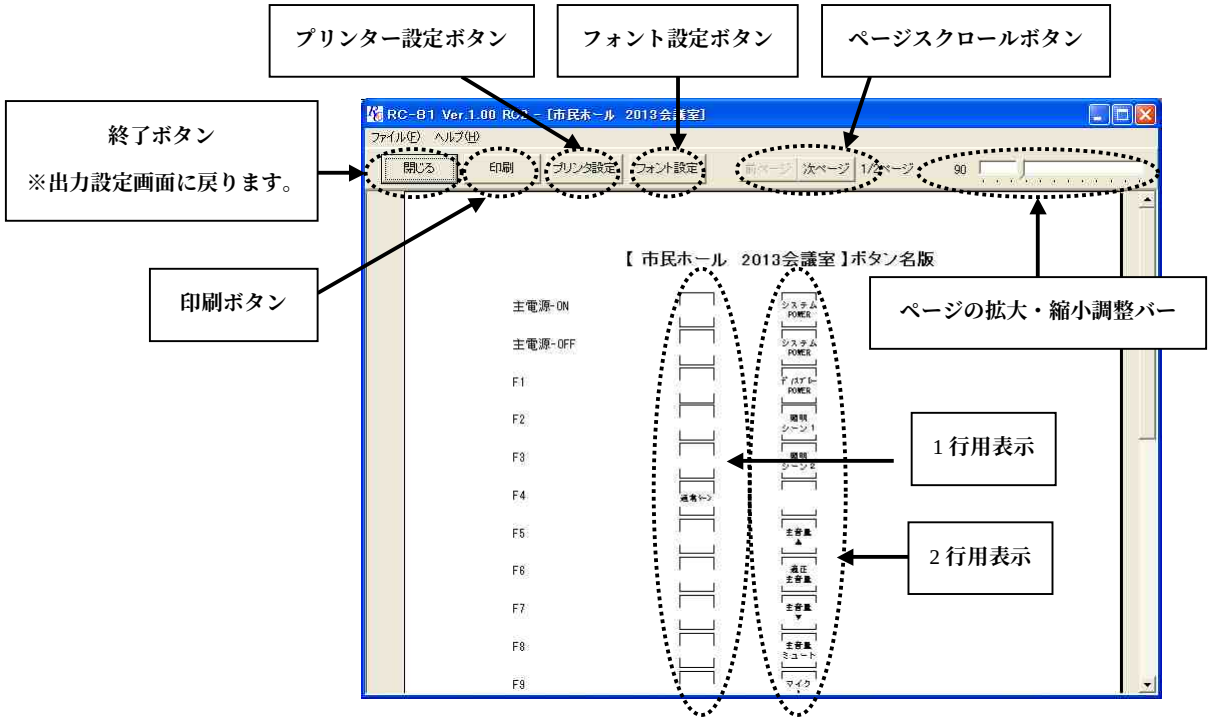
８－７．ボタン銘版の印刷

ボタン割当設定画面にて、登録したボタン名称をお手持ちのプリンターにて印刷出力ができます。OHP フィルムなどに印刷し、切り取って RC-81 本体のスイッチ部に挿入することができます。

①．ボタンの割当設定画面下の“ボタン銘版の印刷”をクリックしてください

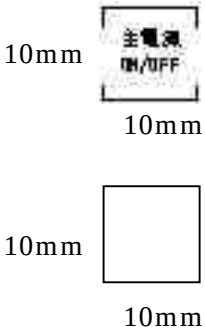
②．出力ポート設定印刷画面が表示されます

印刷時は、必ずプリンターの設定を行なってから、印刷ボタンを押してください。



・ **銘版サイズ**

印刷される銘版のサイズと、スイッチのサイズは下図の通りです。



印刷されるサイズは 10×10mm です。RC-81 本体のボタン銘版挿入部のサイズも、同様の 10×10mm で設計されておりますので、シートからボタン銘版部をカットする際は、若干、小さめにカットしていただきますと、スムーズに挿入できます。

印刷文字配置

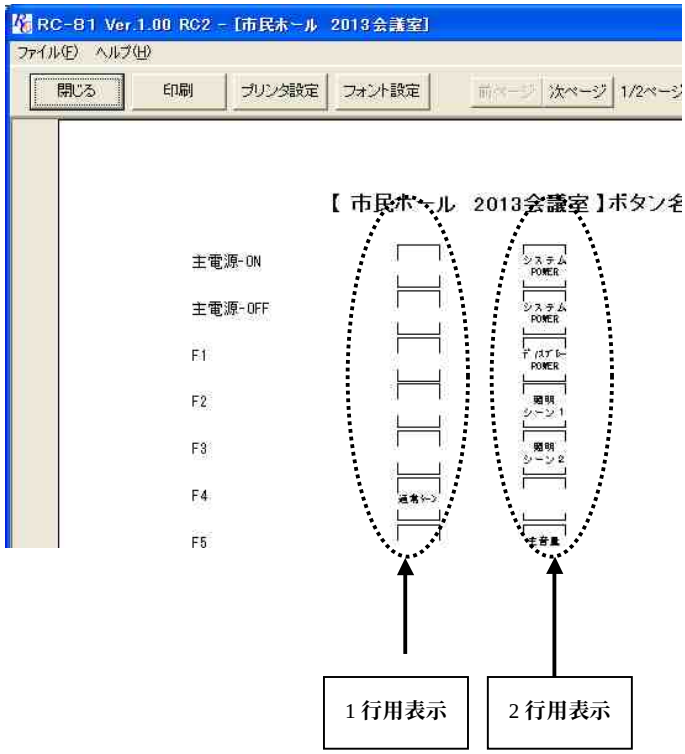
１２３４ ５６７８

全角表示

12345678 90123456

半角表示

登録できる文字数は全角 4 文字、半角 16 文字となります。なお、全角 4 文字以上、半角 8 文字以上を登録した場合、銘版印刷の出力表示は 2 行構成となります。



注意

・ 文字配置のセンターリングはある程度行なっておりますが、場合によってはうまくセンターリングされない場合があります。半角スペースなどを使用して調整をしてください。

８－８．通常モード、ON／OFF モード

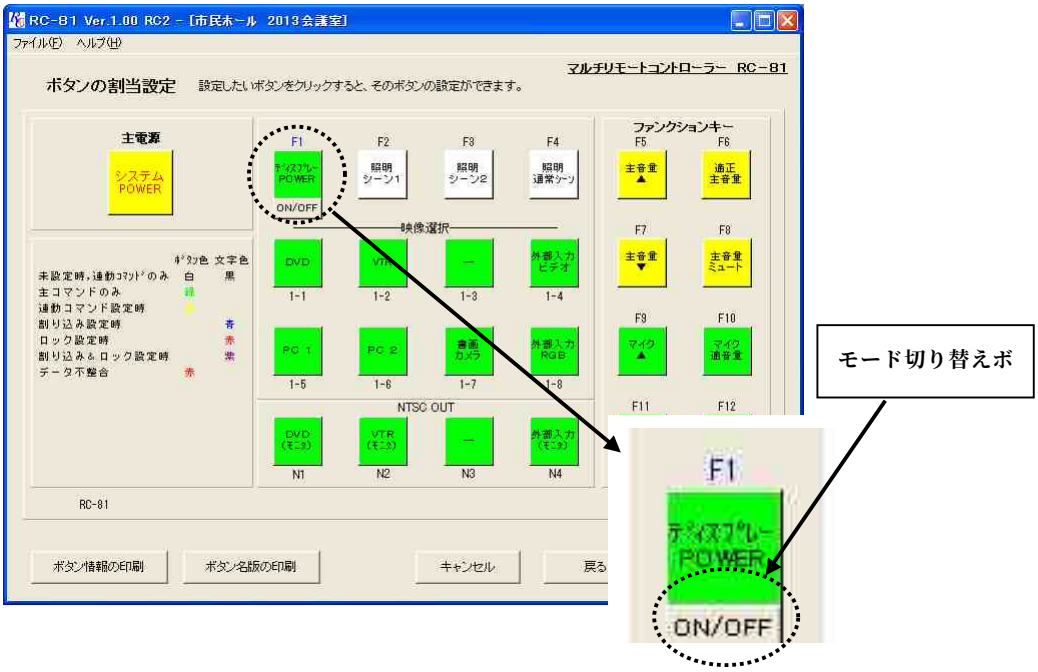
F1 キーのみ、パラレルのオルタネート出力、モーメンタリ出力設定が可能になっております。従って、LED の点灯状態も、通常モードではモーメンタリ点灯、ON／OFF モードではオルタネート点灯になります。

動作例

プロジェクターの電源　ON／OFF の操作を１つのボタンで行ないたい場合。

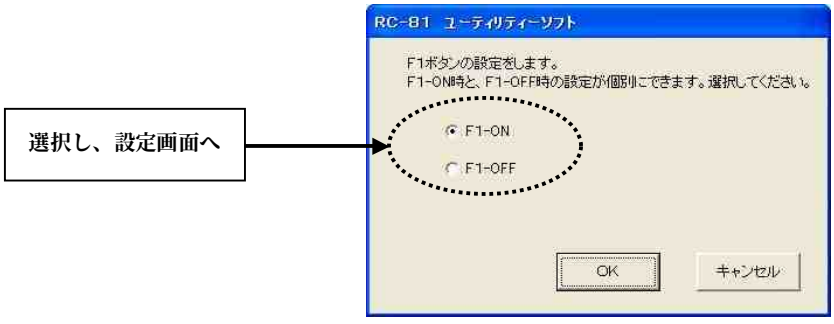
①．ボタン割当設定画面で F1 のモードを切り替える

F1 キーを ON／OFF モードに設定し、F1 ボタンをクリックして、ON 設定、OFF 設定をそれぞれ行なってください。



②．F1 をクリックし、ON 設定、OFF 設定を選択する。

ON 設定、OFF 設定を選択し、通常通り、コマンドの登録作業を行なってください。



８－９．F1 の ON ステータス／OFF ステータス

F1 には通常モード、ON／OFF モードの設定が可能ですが、他のボタンから、F1 の LED ステータス（点灯、消灯）を変更することができます。

動作例

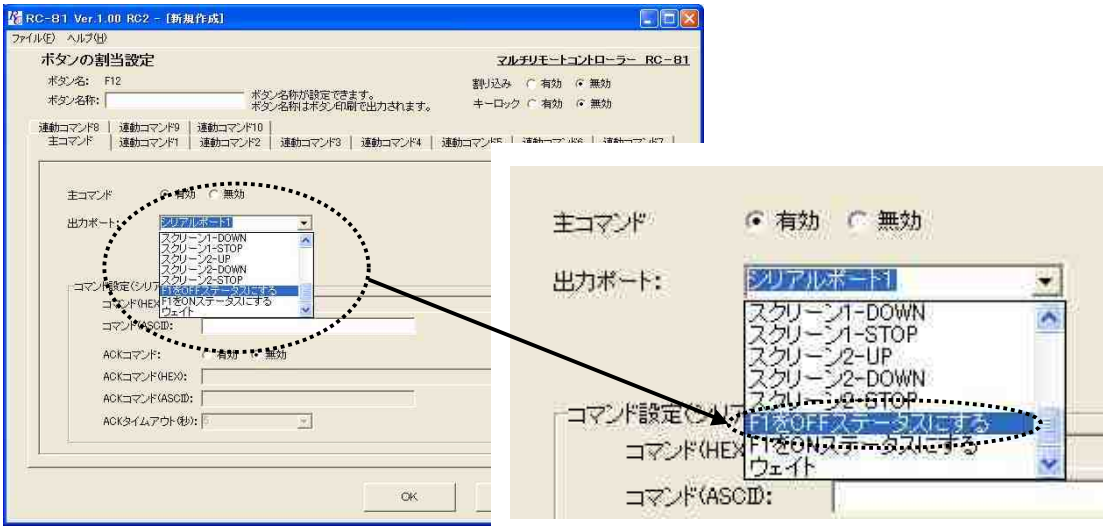
F1 を ON／OFF モードでプロジェクターの電源 ON／OFF を行なっているが、F12 からもプロジェクターの電源 OFF をできるようにしたい場合。

①．F12 にプロジェクター電源 OFF のコマンドを登録する

F12 にプロジェクター電源 OFF コマンドを発行させるプログラムを主コマンドに登録する。

②．F12 に“F1 を OFF ステータスにする”を適用する

主コマンドのあとに、連動コマンド１で出力ポートのプルダウンメニューから、“Ｆ１を OFF ステータスにする”を選択する。



９．RC－81 の登録事例

基本的なボタンの登録例は本ソフトウェアの解凍時に、\recipe\sample.dat に登録されています。具体的なコマンド登録や、各種機能などに関しましては当社営業部までご連絡ください。

１０．制限事項

各ボタンにはそれぞれコマンドを割り当てることができますが、動作を実行する上で、問題が発生しないように、いくつかの制限事項を設けています。下記の項目をご理解のうえ、設定を行なってください。

① オルタネート設定は、<u>主電源、F1（ON/OFF モード時）の主コマンドにのみ</u>適用できます。それ以外のボタンには設定することができません。
② 割り込み機能を有効にしたボタンには、ウェイトを設定することができません。
③ 主コマンドにはウェイトを設定することはできません。
④ ユーティリティーソフトウェアによるデータの読み出しにおいて、“接続先”、“ボタン名称”は読み込まれません。

１１．主な仕様

型名	RC－81
入力ボタン	主電源ボタン:1 系統 スイッチャーコントロールボタン:12 系統 ファンクションボタン:12 系統
ボタン仕様	主電源ボタン:照光式オルタネートスイッチ その他ボタン:照光式モーメンタリスイッチ
RS232C 外部制御	DSUB9 ピン　　オス（インチネジ）:3 系統
接点出力数	外部電源制御：1 系統、 スクリーン制御：2 系統、 オプション制御：8 系統
接点出力仕様	PhotoMOS リレー使用　最大負荷電圧 50V（AC/DC） 最大負荷電流　300mA
使用温湿度条件	温度：0～40℃　　湿度：20～80%（結露しないこと）
電源	AC100V ±10%　50/60Hz
消費電力	約 10W
外形寸法	W187×D60×H132（3U）
重量	約 1.3kg

１２．索引

A

AC----------**7**, 52

ACK コマンド----------32,**43**,52

ACK タイムアウト----------32, **43**

ASCIIコード----------**32**

C

COMポートの設定----------36,38,**39**

E

ETX----------**32**

F

F1----------**4**, 28,45,**48**,**49**,52

F2----------**4**, 28

F3, F4----------**4**, 28

F5----------**4**, 28

F6,F7,F8----------**4**,28

F9----------**4**,28

F10----------**4**,28

F11, F12----------**4**,28

FG----------**7**

L

LED ステータス（点灯、消灯）を変更する----------**49**

N

N1～N4----------**5**

O

OFF ステータス----------**49**

OFF にする（スイッチャー入力）----------**9**

ON ステータス----------**49**

ON/OFF モード----------**4**,24,**48**,49

ON/OFF の操作を 1 つのボタンで行ないたい----------**48**

P

POWER----------**3**, **7**,**8**

R

RC－81の登録事例----------**50**

S

STX----------**32**

X

Xパラメータ----------**6**

う

ウェイト機能----------**42**

上書き保存----------16,**34**

お

主な仕様----------**52**

き

起動画面----------**14**～16,36,38

し

主コマンド----------**3～5**,**29～33**,49,52

出力ポートの設定印刷----------**44**

出力ポートの設定画面----------17,18,20,22,23,25,28,**44**

主電源----------**3**,35,37,41,45,**5152**

シリアルコマンドの登録----------30,31,**32**

シリアルポートの設定項目値----------**19**

シリアルポート 1 の通信設定画面----------**18**

シリアルポート 1----------**6**,18,19,31

シリアルポート 2----------**6**,7

す

スクリーンの設定項目値----------**25**

スクリーン出力ポートの設定----------**27**

スクリーン出力の設定----------30,31,**33**

スクリーン出力の設定画面----------**26**

ストップビット長----------**6**

せ

制限事項----------**51**

設定項目画面----------15,16,**17**

設定項目画面の表示---------- **15**

設定の流れ(ソフトウェア)----------**13**

前面パネル----------**3**

た

卓への固定----------**10**

端子台----------**1**

つ

通常モード----------**4**,45,**48**,49

通信速度----------**6**

通信仕様----------**6**

て

ディップスイッチ----------7,9

データ長----------6

データの新規作成----------15

データを開く----------15,16

電源制御ユニット制御専用出力ポートの設定----------22

電源制御ユニット制御専用パラレルポート----------7

電源制御ユニットの設定項目----------24

電源制御ユニットパターン１----------23

電源制御ユニットパターン１の設定画面----------23

電源制御ユニットパターン２の設定画面----------23

電源制御ユニットパターン２----------23

と

動作環境----------12

動作チェック表の印刷----------45,51

動作プログラムを確認したい----------45

登録できるシリアルコマンド長----------32

登録できる文字数----------47

登録データの書き込み----------35

登録データの保存----------34

登録データの読み出し----------37

取扱説明書----------1,39,51

取り付け参考寸法----------10

取り付け可能板厚----------10

な

名前をつけて保存----------16,34

に

入力映像を選択する----------9

は

背面パネル----------6

パターン１のピンアサイン表----------23

パターン２のピンアサイン表----------23

パラレルポートの設定項目値----------21

パラレルポート 1----------7

パラレルポート１の通信設定画面----------20

パラレルポート出力の設定----------20

パリティチェック----------6

ひ

表示；1-1～1-8----------6,8,28

ほ

保証書----------1

ボタンの配置画面----------28

ボタン名----------2,29,37,46,51

ボタン銘版の印刷----------29,46

本体固定金具----------1,10

め

銘版サイズ----------47

も

文字配置----------47

モーメンタリ保持時間----------20

ら

ラックへの固定----------11

ラックマウント金具の型名----------11

れ

連動コマンド----------2～5,9,29,31～33,49,53～58,60～63

ろ

六角ネジ----------1,10

ロック機能----------2,41

わ

割り込み機能----------2,40,41,51

興和株式會社 電機光学事業部

東京営業：〒103-8433　東京都中央区日本橋本町3-4-14　TEL.(03)3279-7648　FAX.(03)3279-7671

大阪営業：〒541-8511　大阪府大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL.(06)6204-6185　FAX.(06)6204-6188

V2.3/2010.12.20

※ 製品の仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。